

2022 年度 報告書



青山学院大学保健管理センター

巻頭言

保健管理センター副所長 塩澤 友規

今年も青山学院大学保健管理センターの年報を発刊する時期となりました。例年のご愛読に、心より感謝申し上げます。青山学院大学は、永い歴史と伝統を持つ有数の学術研究機関です。私ども青山学院大学保健管理センターは、その一端として、学生ならびに教職員の健康、福祉、安全を絶えず第一に考慮し、安心安全なキャンパス生活の実現を使命としてまいりました。

2020 年を境に、新型コロナウイルスという前例のない困難に直面して以来、2022 年度の年報では、例年の取り組みに加え、当センターのその後の COVID-19 対策についても解説いたしております。2022 年度においては、COVID-19 のオミクロン株が蔓延しました。ご承知の通り、オミクロン株は、それ以前の株に比べ、病原性が低減されはしたものの、感染力は強化され、学内感染者数は急速に増加し、これに伴い、保健管理センターとしての取り組み内容も増えました。しかしながら、斯様な状況におきましても、学生・教職員の皆さまの絶えざる献身とご協力により、大学コミュニティとしての団結をもって対処し、難局を乗り越えることができました。関係みな様のお力添えに、改めまして深く感謝申し上げます。また、この経験から得た知識と連帯感は、今後の学内の健康と福祉への取り組みにおいても大いに活かされることと確信いたしております。

2022 年度は、上記新型コロナウイルス対策を行う一方で、当センターは、学生・教職員の心の健康や生活習慣の見直し、疾病の予防にも焦点を当て、これらの健康課題にも注力した活動を行いました。近年、心の健康や生活習慣に関連する疾病の増加が顕著となっているなか、当センターでは、一同、それらの課題に効果的に取り組むための新しい技術や方法論を学び、研究・実践をいたしました。具体的には、最先端の健康科学技術を取り入れ、学生や教職員の健康状態の向上を目指すとともに、保健教育の充実を図り、その際、デジタル化の進展を活かし、オンラインでのサービス提供や情報発信も拡充しました。また、一方で、学生の喫煙問題に関しても、予防と啓発活動を強化するなどの尽力をしました。そして、最終的に、これら全過程で得られた知見の一部を、全国大学保健管理研究集会において学術的成果として発表いたしました。

2023 年 5 月以降、COVID-19 は「5 類感染症」として位置づけられ、現在、社会生活は漸次、コロナ前の状態へと戻りつつあります。当センターも、新たな健康と福祉の取り組みの方向性を探る中で、これまでも取り組んできた学会発表・論文執筆等、学術的活動を更に深化し、また、それらの知見を基にした新たな健康技術やプログラムの開発に尽力しております。上述いたしました通り、COVID-19 以外にも、近年、メンタルヘルスや生活習慣病の予防、健康寿命の延伸など、多岐にわたる健康課題が浮上しており、私どももこれらに取り組んでまいりました。今後は、更なる新たなアプローチとして、健康科学の最前線の知見や技術を積極的に取り入れ、疾病予防のみならず、健康の増進や福祉の向上にも力を入れ、全ての学内関係者の皆様の健康と幸福の実現を目指して参る所存です。

最後に、保健管理センターの日々の活動は、学生、教職員、並びに学内外の関係者の皆様の温かなサポートと皆様との信頼の上に成り立っております。これまでのご支援ご協力に、あらためまして心より感謝申し上げます。そして、これからも、私ども保健管理センターは、皆様一人ひとりの健康と福祉の向上のため、全力を尽くし続けてまいります。今後とも益々のご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

目 次

2022 年度業務報告

1. 年間業務内容.....	- 4 -
2. 学生健康診断.....	- 5 -
(1) 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む)	- 5 -
(2) 学生定期健康診断項目別受診率	- 7 -
(3) 学生定期健康診断有所見者の経過.....	- 7 -
(4) 学生の身体状況(肥満とやせ)	- 8 -
(5) 学生定期健康診断 Web 健康調査	- 9 -
(6) 感染症罹患報告者数.....	- 13 -
(7) 学生の休学者・退学者数.....	- 15 -
3. 教職員健康診断・産業保健.....	- 16 -
(1) 教職員定期健康診断 項目別受診率(キャンパス別)	- 16 -
(2) 教職員定期健康診断 有所見者の経過(全キャンパス)	- 17 -
(3) 教職員の身体状況(肥満とやせ)	- 18 -
(4) 保健指導	- 19 -
(5) 教職員の休職・復職者数(対象：学院全体)	- 19 -
(6) 長時間労働者への産業医による面接.....	- 19 -
(7) ストレスチェック受検率に関する報告(対象：学院全体)	- 20 -
4. 集団健康教育.....	- 21 -
5. その他の法定健康診断.....	- 22 -

(1) 特殊健康診断（相模原キャンパス）	- 22 -
(2) 雇入れ健康診断.....	- 24 -
(3) 特定業務従事者健康診断.....	- 24 -
6. 健康診断証明書発行業務	- 25 -
(1) 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	- 25 -
(2) 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数.....	- 25 -
7. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況.....	- 26 -
(1) 青山キャンパス	- 26 -
(2) 相模原キャンパス	- 27 -
8. 各キャンパス業務内容利用状況.....	- 28 -
(1) 青山キャンパス.....	- 28 -
(2) 相模原キャンパス	- 28 -
9. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況.....	- 29 -
10. 各種情報処理.....	- 30 -
(1) 学生健康診断処理関係	- 30 -
(2) 教職員健康診断処理関係.....	- 30 -
11. 受動喫煙防止対策（禁煙希望学生を対象とした禁煙教育）	- 31 -
(1) 体育会部活動を対象とした禁煙教育	- 31 -
(2) 個別禁煙教育	- 31 -
12. 全国保健管理研究集会研究発表	- 31 -

2022 年度業務報告

1. 年間業務内容

年	月	業務	対象者	キャンパス・実施期間
2022年	4月	入学式救護待機	学生・来校者	青山(4/1)
		学生定期健康診断	学生	青山(4/1・2・4・5・6) 相模原(4/2・4・5・6)
		学生 Web 健康調査	学生	青山・相模原(4/1～15)
		内科医による健康相談	学生・教職員	青山(毎週月・火・木・金通年) 相模原(毎週月・火・木・金通年)
		精神科医による精神衛生相談	学生・教職員	青山(毎週水・木・金通年) 相模原(毎週火・木通年)
		学生健康診断有所見者・有症状者への対応	学生	青山・相模原(4/7～通年)
		大学指定医療機関での学生フォローアップ健診 (今年度入学生・教育実習・介護体験対象者)	学生	青山・相模原(4/14～9/30)
		健康診断証明書発行	学生	青山・相模原(4/25～通年)
		健康診断結果通知発行	学生	青山・相模原(4/25～通年)
		長時間労働者への産業医による面接指導	職員	青山・相模原(4月～月毎)
	5月	特殊健康診断・特定業務従事者健康診断	学生・教職員	相模原(5/11・12・13)
		保健管理センター内での学生フォローアップ健診	学生	青山・相模原(5/16～7/29)
		ペアレンツウィークエンド企画「キャンパス見学会」	来校者	相模原(5/21)
	6月	ペアレンツウィークエンド企画「キャンパス見学会」	来校者	青山(6/11)
		保健管理センター運営委員会メール会議	運営委員	青山・相模原(6/29)
	7月	オープンキャンパス救護待機	来校者	相模原(7/10)
		大学院説明会救護待機	来校者	青山(7/16)
	8月	入学者選抜説明会	受験生	青山(8/2・3)
	9月	理工学研究科博士前期課 9月入試救護待機	受験生	相模原(9/2・3)
		社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山・相模原(9/3)
		卒業生学位授与式救護待機	学生	青山(9/24)
		教職員健康診断	教職員	青山(9/27～30)・相模原(9/28～30)
	10月	教職員二次フォローアップ健診	教職員	青山・相模原(10/2～2023/2/17)
		相模原祭救護待機	学生・来校者	相模原(10/8・9)
		入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(10/8)
		第59回全国保健管理研究集会	保健管理センター	青山・相模原(10/19・20)
		青山祭救護待機	学生	青山(10/28・29・30)
	11月	2023年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(11/5・23・26)
		2023年度入学者選抜救護待機	受験生	相模原(11/5・23)
	12月	理工学研究科入試救護待機	受験生	相模原(12/3)
		2023年度入学者選抜(年内実施)試験救護待機	受験生	青山(12/10)

2023年	1月	大学入学共通テスト救護待機	受験生	青山(1/14・15)
		社会情報学研究科入試救護待機	受験生	青山・相模原(1/28)
	2月	一般選抜入試救護待機	受験生	青山(2/7・9・10・11・13・14・15・17・18・19)
		社会情報学研究科入試救護待機	受験生	相模原(2/18)
3月	3月	AOGAKU OPEN DAY(ボランティア学生によるキャンパス体験イベント)	来校者	青山(3/18)
		学位記授与式	卒業生	青山(3/25)

【保健管理センター通年業務】

- * 各種健康診断(学生健康診断、教職員健康診断、特殊健康診断、特定業務従事者健康診断)
- * 各種証明書発行(健康診断証明書、英文健康診断証明書、健康診断受診証明書等)
- * 救急対応、応急処置
- * 健康相談(内科医、精神科医、保健師・看護師による健康相談)
- * 健康教育(個別保健指導、集団健康教育)
- * 診療
- * 産業保健(教職員の休職・復職、長時間労働者、高ストレス者等、への介入・支援)
- * 各種届出及び申請書の作成(医療廃棄物処理、私立大学等経常費補助金申請書等)
- * 各種統計(労働基準監督署、文部科学省、保健所、年報、大学資料集等)
- * 感染症対応(COVID-19・インフルエンザ・結核等)

2. 学生健康診断

(1) 学生健康診断受診状況(外部医療機関での受診者数を含む)

青山キャンパス

対象者数:2022/4/23 現在(但し専門職大学院後期入学生10名のみ追加) 受診者数:2022/10/28 現在

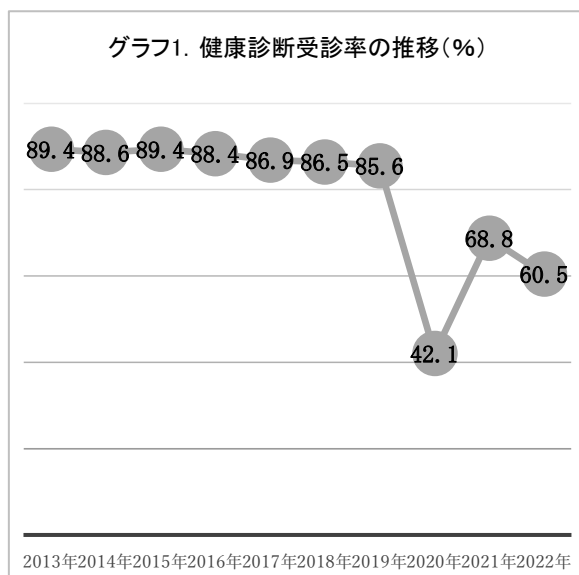
		1年生	2年生	3年生	4年生	男合計	女合計	合計
文学部	学生数	802	808	749	826	952	2233	3185
	受診者数	743	503	368	514	588	1540	2128
	受診率	92.6%	62.3%	49.1%	62.2%	61.8%	69.0%	66.8%
教育人間科学部	学生数	310	310	306	331	382	875	1257
	受診者数	300	219	200	228	263	684	947
	受診率	96.8%	70.6%	65.4%	68.9%	68.8%	78.2%	75.3%
経済学部	学生数	565	594	537	646	1579	763	2342
	受診者数	523	253	139	261	709	467	1176
	受診率	92.6%	42.6%	25.9%	40.4%	44.9%	61.2%	50.2%
法学部	学生数	506	554	515	565	1095	1045	2140
	受診者数	473	284	181	273	565	646	1211
	受診率	93.5%	51.3%	35.1%	48.3%	51.6%	61.8%	56.6%
経営学部	学生数	547	572	518	611	1169	1079	2248
	受診者数	531	278	178	282	598	671	1269
	受診率	97.1%	48.6%	34.4%	46.2%	51.2%	62.2%	56.5%
国際政治経済学部	学生数	315	329	313	347	633	671	1304
	受診者数	295	200	95	119	281	428	709
	受診率	93.7%	60.8%	30.4%	34.3%	44.4%	63.8%	54.4%
総合文化政策学部	学生数	271	263	254	294	329	753	1082
	受診者数	256	163	84	127	152	478	630
	受診率	94.5%	62.0%	33.1%	43.2%	46.2%	63.5%	58.2%
大学院生	学生数					157	169	326
	受診者数					66	91	157
	受診率					42.0%	53.8%	48.2%
専門職大学院生	学生数					305	182	487
	受診者数					101	60	161
	受診率					33.1%	33.0%	33.1%
大学合計	学生数	3316	3430	3192	3620	6601	7770	14371
	受診者数	3121	1900	1245	1804	3323	5065	8388
	受診率	94.1%	55.4%	39.0%	49.8%	50.3%	65.2%	58.4%
科目等履修生	学生数					51	37	88
	受診者数					7	4	11
	受診率					13.7%	10.8%	12.5%

相模原キャンパス

		1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	男合計	女合計	合計
理工学部	学生数	763	675	715	627	2255	525	2780
	受診者数	704	358	330	383	1352	423	1775
	受診率	92.3%	53.0%	46.2%	61.1%	60.0%	80.6%	63.8%
社会情報学部	学生数	219	219	243	230	526	385	911
	受診者数	206	117	95	117	268	267	535
	受診率	94.1%	53.4%	39.1%	50.9%	51.0%	69.4%	58.7%
地球社会共生学部	学生数	205	180	198	214	234	563	797
	受診者数	196	123	93	98	124	386	510
	受診率	95.6%	68.3%	47.0%	45.8%	53.0%	68.6%	64.0%
コミュニティ人間科学部	学生数	258	240	236	259	315	678	993
	受診者数	241	140	116	158	163	492	655
	受診率	93.4%	58.3%	49.2%	61.0%	51.7%	72.6%	66.0%
大学院生	学生数					432	83	515
	受診者数					381	79	460
	受診率					88.2%	95.2%	89.3%
相模原キャンパス合計	学生数	1445	1314	1392	1330	3762	2234	5996
	受診者数	1347	738	634	756	2288	1647	3935
	受診率	93.2%	56.2%	45.5%	56.8%	60.8%	73.7%	65.6%
科目等履修生	学生数					1	1	2
	受診者数					1	1	2
	受診率					100%	100%	100%

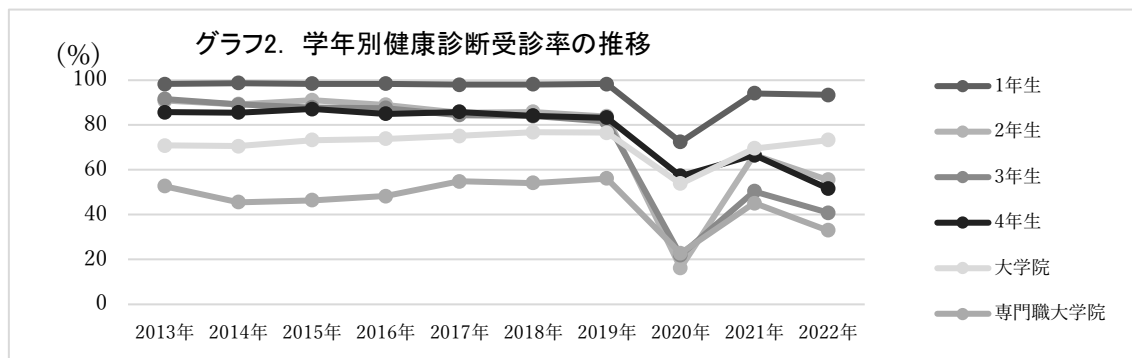
大学総計(両キャンパス)

	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	学部生合計	大学院生	専門職 大学院生	大学生総合計	科目等 履修生
学生数	4761	4744	4584	4950	19039	841	487	20367	90
受診者数	4468	2638	1879	2560	11545	617	161	12323	13
受診率	93.8%	55.6%	41.0%	51.7%	60.6%	73.4%	33.1%	60.5%	14.4%



2020年度から続く COVID-19 の感染拡大は2022年度も収まりをみせず、学生健康診断は2020年度、2021年度同様、健診項目を学校保健安全法に基づく必要最小限の項目に絞ると共に、会場での感染防止対策に努めて実施した。また、大学での健康診断受診を見送る学生の救済措置として、学生が費用負担無しで受診できるフォローアップ健診制度も継続した。健診項目に胸部レントゲン検査が含まれる今年度入学生は提携先の医療機関にて4月14日から9月30日の期間を設け、健診項目に胸部レントゲン検査が含まれない今年度入学以外の学生は保健管理センターにて5月16日から7月29日の期間を設け、未受診者に健康診断の受診を促した。

最終的な学生健康診断受診率は青山キャンパス 58.4%、相模原キャンパス 65.6%に留まり(科目等履修生を除く)、両キャンパス共、2021年度受診率より低下した。1年生の受診率はほぼ横ばいであったが、健診項目の少ない在校生の受診率低下が目立った。



(2) 学生定期健康診断項目別受診率

※2022年度は健康診断受診先によって学年の指定項目以外の項目も受診している場合があるため項目別受診率は参考値である

青山キャンパス (科目等履修生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	14459	3330	5069	8399	50.1	64.9	58.1
レントゲン	4150	1577	2116	3693	84.2	92.9	89.0
視力	4433	864	1341	2205	40.9	57.9	49.7
内科診察	7749	2195	3117	5312	60.9	75.2	68.6

相模原キャンパス (科目等履修生含む)

健診項目	対象者数	受診者数			受診率		
		男	女	合計	男	女	合計
身体計測	5998	2289	1648	3937	60.8	73.7	65.6
レントゲン	1850	1061	638	1699	89.2	96.5	91.8
視力	1858	772	456	1228	64.3	69.3	66.1
内科診察	3292	1550	1015	2565	75.1	82.6	77.9

(3) 学生定期健康診断有所見者の経過

健診項目	有所見者数	有所見率	有所見者の経過					
			異常なし	所見あるも問題なし	経過観察	要治療(病院で治療中もしくは経過観察中含む)	結果未報告	未来室
胸部レントゲン	108	2.0%	2	85	胸部術後(5)心拡大(2)気腫性のう胞(1)大動脈弓突出(1)石灰化像(2)顆粒状陰影(1)硬化性陰影(1)胸膜癒着(1)プラ(1)その他(1)	心拡大(1)結節影(1)	3	0
内科診察(循環器)	58	0.7%	27	11	洞性頻脈(4)LVH(3)WPW症候群(2)PVC(1)1°AVB(1)右軸偏位(1)	心室性期外収縮(1)	4	3
内科診察(血液)	69	0.9%	44	3	貧血(2)甲状腺(5)	甲状腺(3)貧血(1)黄疸(1)潰瘍性大腸炎(1)	1	8
尿検査	3	2.8%	3	0	0	0	0	0

定期健康診断における有所見者はのべ238人であった。精密検査等の結果、問題なし・所見あるも問題なしは合わせて175人、経過観察は35人、要治療(病院で治療中もしくは経過観察中含む)は9人であった。また未来室や病院受診結果未報告の学生に対しては、体調および受診状況確認のため定期的に学生ポータルや手紙にて呼出しを行った。

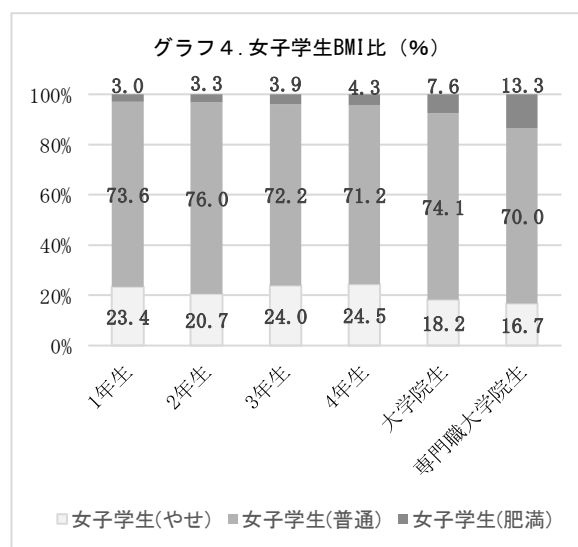
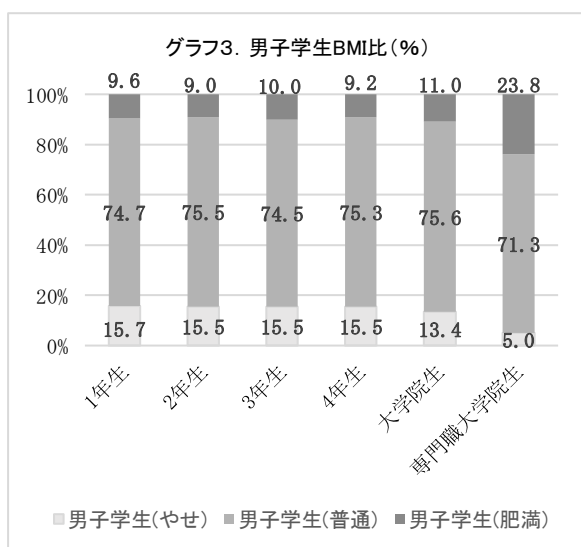
(4) 学生の身体状況(肥満とやせ)

①身長・体重・BMIの平均値

	男子学生				女子学生			
	身長	体重	BMI	平均年齢	身長	体重	BMI	平均年齢
1年生	171.6	62.5	21.2	18.4	158.7	50.7	20.1	18.2
2年生	172.0	62.6	21.2	19.4	158.9	51.4	20.3	19.2
3年生	172.1	63.2	21.3	20.5	159.0	51.0	20.2	20.2
4年生	172.1	62.8	21.2	21.6	159.1	50.9	20.1	21.3
学部生全体平均	171.9	62.7	21.2	19.6	158.9	51.0	20.2	19.5
大学院生	172.3	64.1	21.6	23.7	159.7	53.1	20.8	25.1
専門職大学院生	172.0	68.1	23.0	27.6	159.8	54.5	21.4	25.2
大学全体平均	171.9	62.9	21.3	20.1	158.9	51.1	20.2	19.7
科目等履修生	167.7	66.7	23.7	57.6	153.4	47.3	20.0	50.6

②やせ・普通・肥満学生の割合

	男子学生			女子学生		
	18.5未満 (やせ)	18.5以上25未満 (普通)	25以上 (肥満)	18.5未満 (やせ)	18.5以上25未満 (普通)	25以上 (肥満)
1年生	15.7	74.7	9.6	23.4	73.6	3.0
2年生	15.5	75.5	9.0	20.7	76.0	3.3
3年生	15.5	74.5	10.0	24.0	72.2	3.9
4年生	15.5	75.3	9.2	24.5	71.2	4.3
学部生全体平均	15.6	75.0	9.4	23.1	73.4	3.5
大学院生	13.4	75.6	11.0	18.2	74.1	7.6
専門職大学院生	5.0	71.3	23.8	16.7	70.0	13.3
大学全体平均	15.2	75.0	9.8	23.5	73.3	3.6
科目等履修生	0	75.0	25.0	20.0	80.0	0



本学学部生の肥満者の割合は男性 9.4%、女性 3.5%、痩せの割合は男性 15.6%、女性 23.1%であった。学生の健康白書 2015 によると、BMI が 25 以上の肥満者の割合は男性 11.3%、女性 5.8%、BMI が 18.5 未満の痩せの割合は男性 11.3%、女性 15.7%であり、本学の学生は学生の健康白書の平均より男

女共に痩せの割合が高く肥満の割合が低い傾向がみられた。また、2019年の国民健康・栄養調査の結果を年代別に見た場合、女性の15～19歳のやせの割合は21%、20歳代の痩せの割合は20.7%と他の年代と比較して高くなっているが、2021年度同様、本学の専門職大学院を除く女子学生の痩せの割合は全学年で国民健康・栄養調査の割合よりも同等か高くなっている。

BMI15以下の学生には保健師、看護師が個別面談を行い、必要を認めた場合は大学の精神科医との面談の場を設け、病院受診や学生相談センターのカウンセリングにつなげるなどの対応を行った。BMI30以上の学生に対しては、昨年に続き、COVID-19禍である事を考慮して対面での指導は行わず、学生ポータルを通して年2回肥満予防のPDF資料の配信などを行った。

(5) 学生定期健康診断 Web 健康調査

①回答者数・回答率（両キャンパス）

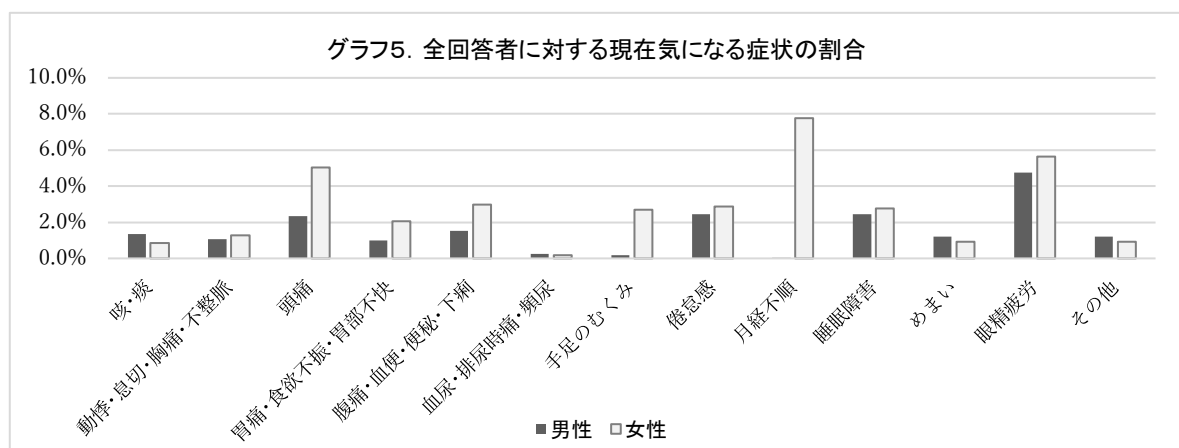
対象者数：2022/4/23 現在 受診者数：2022/10/28 現在

		1年生	2年生	3年生	4年生	大学院生	専門職大学院	大学合計	科目等履修生
青山 キャンパス	学生数	3316	3430	3192	3620	326	487	14371	88
	回答者数	2864	2818	2523	2817	250	402	11674	33
	受診率	86.4	82.2	79.0	77.8	76.7	82.5	81.2	37.5
相模原 キャンパス	学生数	1445	1314	1392	1330	515	-	5996	2
	回答者数	1276	1168	1136	1147	473	-	5200	2
	受診率	88.3	88.9	81.6	86.2	91.8	-	86.7	100
合 計	学生数	4761	4744	4584	4950	841	487	20367	90
	回答者数	4140	3986	3659	3964	723	402	16874	35
	受診率	87.0	84.0	79.8	80.1	86.0	82.5	82.8	39.0

※Web 回答期間は在校生 2022 年 3 月 1 日～15 日、4 月 1 日～15 日、新入生 2022 年 4 月 1 日～15 日

※指定期間内に Web 回答しなかった学生は書面にて保健管理センターに提出

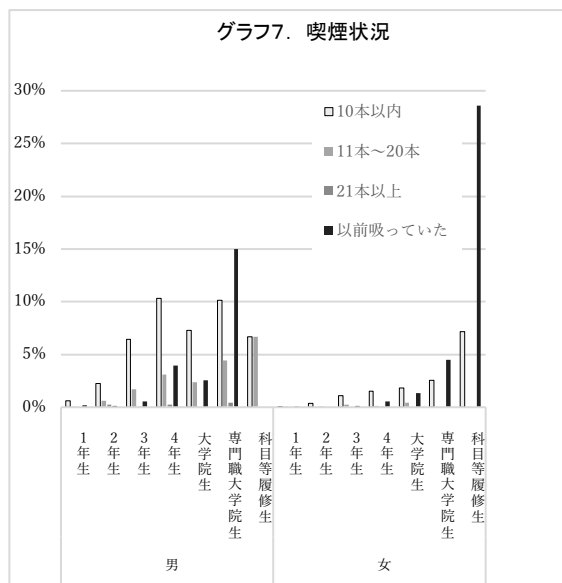
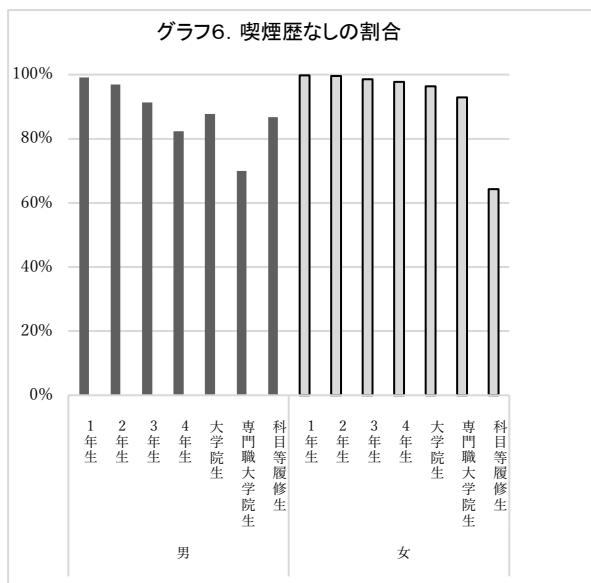
②Web 健康調査回答結果からみる学生の自覚症状の傾向（両キャンパス）



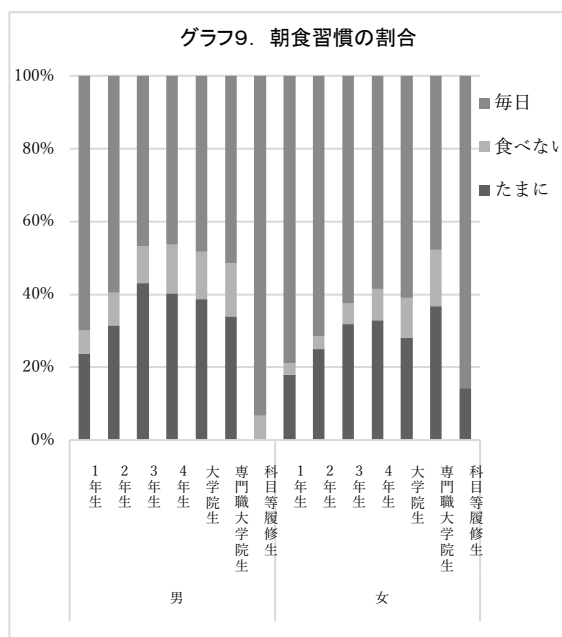
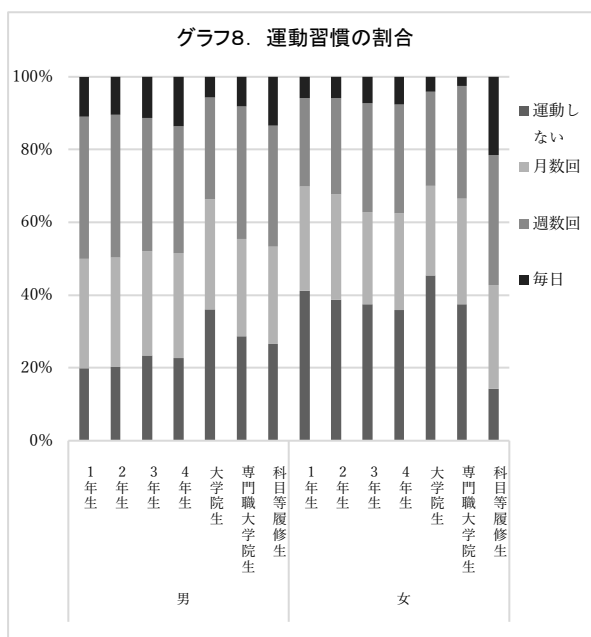
学生の自覚症状については、昨年に引き続き男女共に「眼精疲労」「頭痛」「睡眠障害」「倦怠感」を自覚している学生が多かった。また女子学生においても昨年に引き続き「月経不順」「腹痛・血便・便秘下痢」「手足のむくみ」を自覚している学生が多かった。「眼精疲労」「睡眠障害」「倦怠感」「月経不順」については昨年に比べ減少傾向であり、2021年度学生健康教育で動画配信やオンラインイベントを開催しており、その効果が出ていると考えられる。一方「咳」「動悸」「頭痛」に関しては昨年と比べ増加傾向にあり、「頭痛」に関しては専門医による動画配信で健康教育を行うと共に、個別相談の機会も設けた。しかし依然として一定数の学生は自覚症状を持っており、今後も引き続き学生の健康問題に着目した健康教育を継続していく必要がある。

③学生の生活習慣

生活習慣の傾向をグラフ 6—11 に表示する。

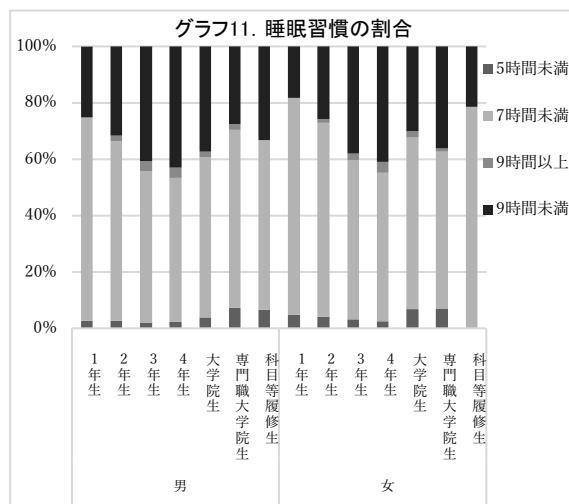
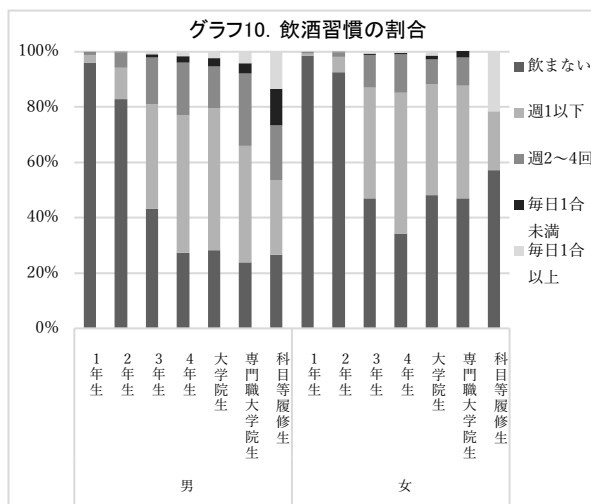


【喫煙率】 喫煙率は男子 8.4%、女子 1.3%であった。2015 年学生の健康白書の全国大学 4 年制の学生の喫煙率は男子 6.9%、女子 1.5%であり、本学男子は全国と比べ喫煙率が高かった。また本学学生の喫煙率は女子より男子が高く、学年とともに上昇している。



【運動習慣】 運動習慣率は男子 77.3%、女子 61.5%であった。2015 年学生の健康白書の全国大学 4 年制の学生の運動習慣率は男子 67.8%、女子 53.6%であり、本学学生の運動習慣率は全国と比べ男女共に高かった。本学学生の運動習慣は女子より男子が高く、男子は学年とともに低下し、女子は学年とともに上昇する傾向がみられた。

【朝食習慣】 朝食摂取率は男子 90.0%、女子 94.5%であった。2015 年学生の健康白書の全国大学 4 年制の学生の朝食摂取習慣率は男子 52.9%、女子 65.8%であり、また「ほとんど摂取しない」学生の割合は男子 16.2%、女子 8.3%であった。全国と比較すると、本学学生の朝食摂取率は高い。朝食を毎日摂取する習慣は男子より女子の方が多く、男女ともに学年が上がるとともに低下している。

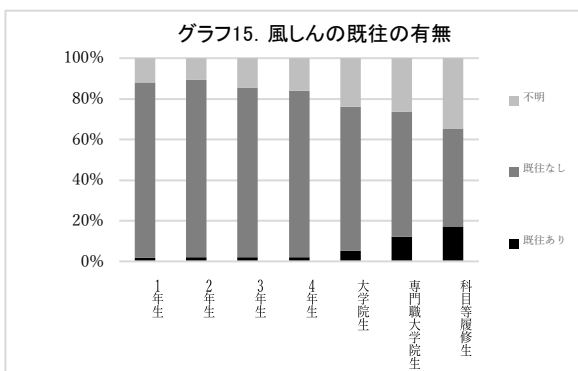
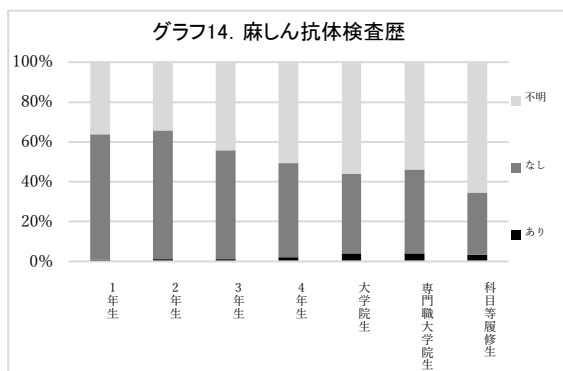
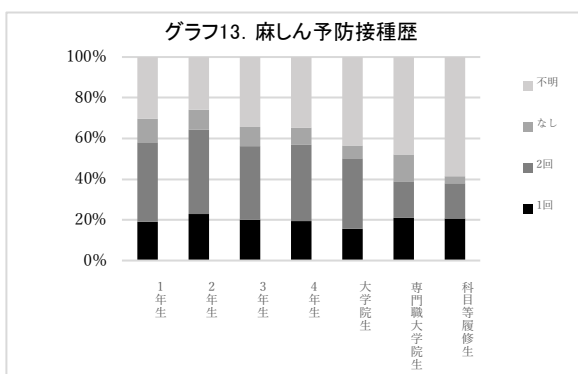
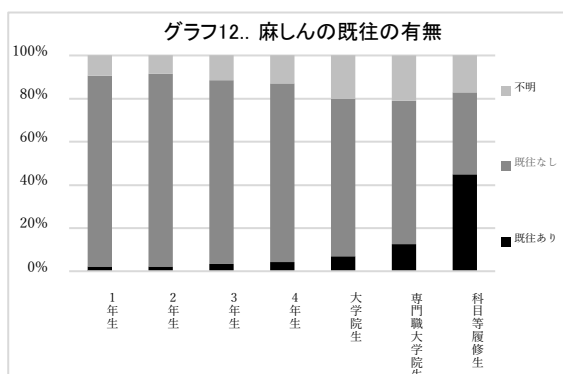


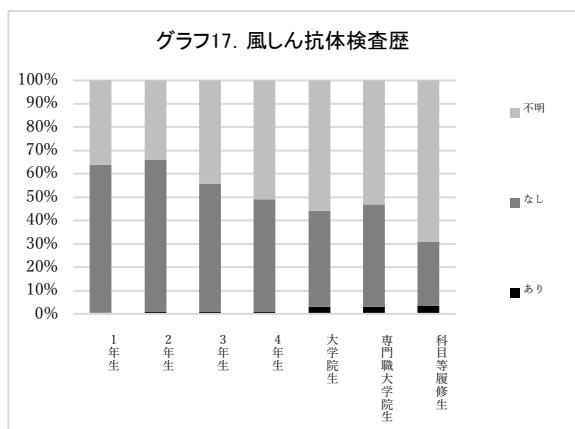
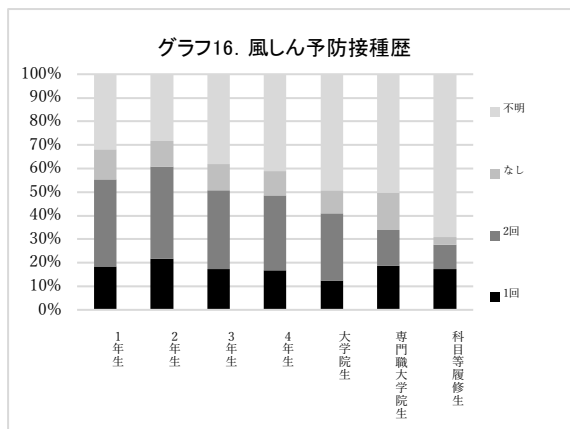
【飲酒習慣】 飲酒率は男子 40.0%、女子 32.1%であった。2015 年学生健康白書の全国大学 4 年制の学生の飲酒率は男子 44.5%、女子 39.0%であり、学年においては男女ともに 2 年生から飲酒率が上がり、3 年生で大きく上昇している。本学学生の飲酒率は全国と比べ低く、女子より男子が高い。

【睡眠週間】 いずれの学年でも睡眠時間 5～7 時間以上の睡眠時間が多く、男子の方が女子よりも睡眠時間が長かった。2015 年学生健康白書の全国大学 4 年制の学生の平均睡眠時間は男子 6.5 時間、女子 6.4 時間であり、いずれの年齢、学年でも 6 時間と答える割合が最も多かった。また年齢別では男子 20 歳、女子 19 歳で最も睡眠時間が短くなり、その後は増加傾向を認めた。本学でも男女共に学年が上がると共に 7 時間未満睡眠が減り、9 時間未満睡眠が増加している。

以上、本学学生の生活習慣における運動習慣・朝食習慣は全国学生と比べ高く、女子は学年が上がるとともに運動習慣が多くなる傾向がある。一方で本学学生の男子は全国と比べ喫煙率が高く、学年が上がるとともに運動習慣が低下する傾向にあり、3.4 年生男子学生を対象にした喫煙や運動習慣の健康教育について活動を行っていく必要がある。

④麻しん・風しんについて



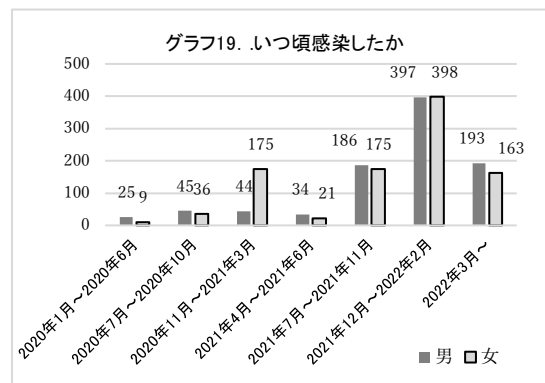
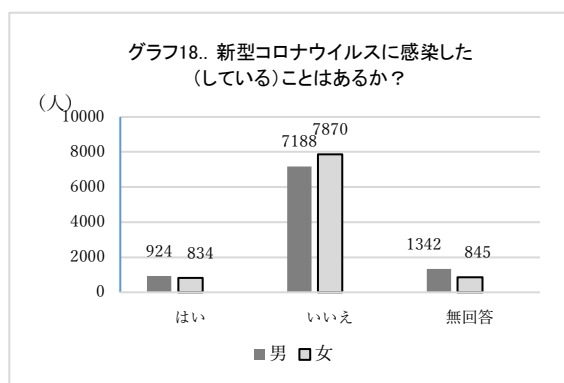


麻疹、風しんについてグラフ 12-17 に示す。麻疹の既往がある学生は 3.5%であり、過去に麻疹の予防接種を 1 回受けた者は 20.2%、2 回受けた者は 37.8%であった。風しんの既往がある学生は 2.3%であり、過去に麻疹の予防接種を 1 回受けた者は 18.3%、2 回受けた者は 34.5%であった。麻疹、風しん共に厚生労働省の予防接種目標の 95%に到達していない。

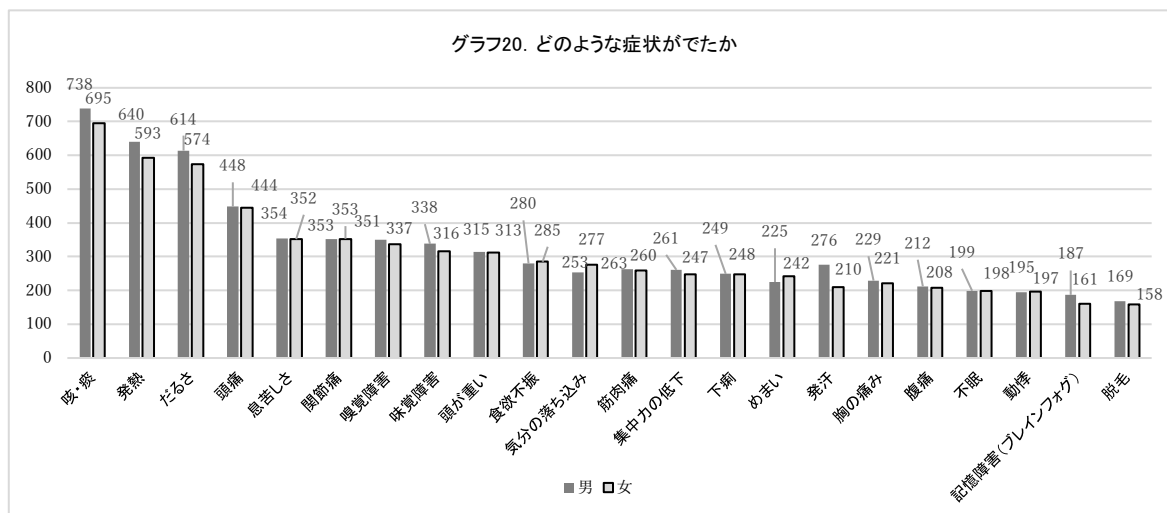
免疫のない女性が妊娠初期に風しんに罹患すると、胎児に先天性風しん症候群を起こすおそれがあり、男女問わず妊娠・出産のライフイベントを迎える学生にとって、流行を繰り返す麻疹・風しんは重要な健康課題の一つである。今後も予防接種の必要性に関する啓蒙活動が必要であると考え。

⑤COVID-19 罹患時の症状と後遺症及び COVID-19 ワクチン接種歴

2022 年度の Web 健康調査では、通常健康調査項目に加え、COVID-19 罹患時の症状と後遺症及び COVID-19 ワクチン接種歴に関する調査を実施し、19,003 人より回答を得た（2022 年 4 月 30 日現在）。

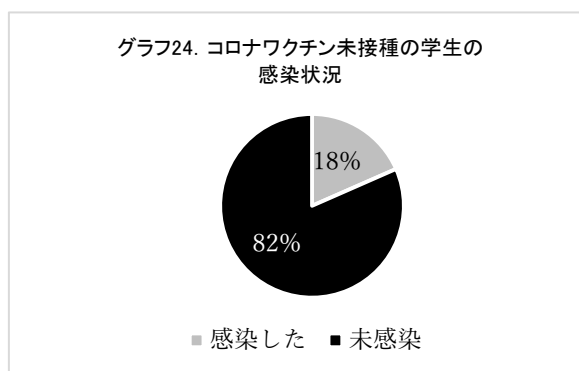
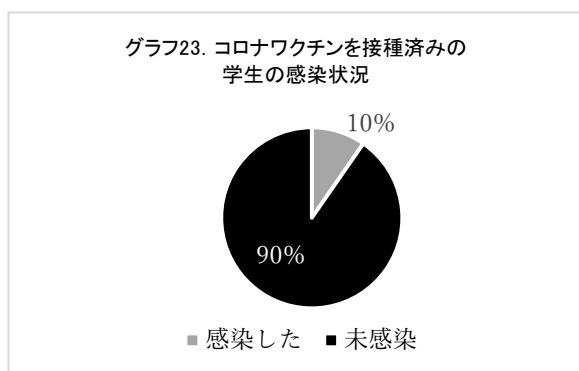
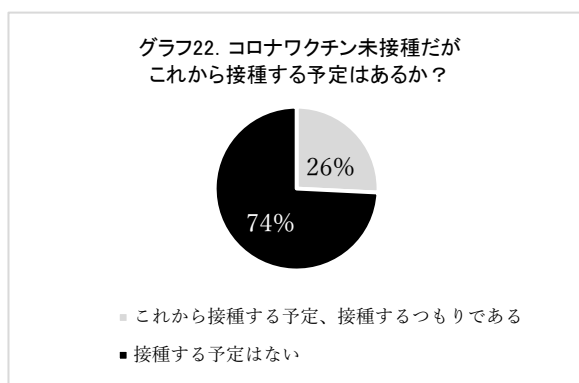
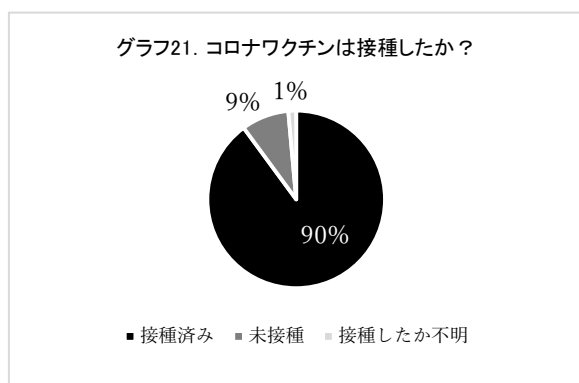


2020 年 1 月～2022 年 4 月に COVID-19 に感染したことがあると回答した学生は 9.2%で、最も感染者数が多かったのは、オミクロン株が猛威を振るった 2021 年 12 月から 2022 年 2 月（第 6 波）であり、COVID-19 に感染した事があると回答した学生の約 45%を占めた。



COVID-19 罹患症状で一番多かったのは咳・痰の症状で、次いで発熱、だるさが続いた。後遺症として1か月以上持続した症状で一番多かったのは関節痛 78 人で、嗅覚障害 61 人、不眠 32 人と続いた。「症状が1か月以上持続したために、医療機関を受診したか？」の設問については、85 名が「はい」と回答し、「その症状や体調不良のために、現在も学業や日常生活を送る上で困っていることがあるか？」の設問については、54 名がはいと回答した。「はい」と回答した学生には保健管理センターで呼び出しを行ったが、呼び出しに応じた学生に関しては呼び出した時点では軽快しており、配慮の必要を申し出た学生はいなかった。

また、COVID-19 ワクチン接種歴の調査を実施したが、接種済みが 90%（うち1回目：1%、2回目：79%、3回目 20%）、未接種が 9%（うち、これから受ける予定：26%、受ける予定なし：74%）、接種したか不明が 1%であった。なお、コロナワクチンを1回でも接種した学生の感染率は10%で、未接種者の感染率は18%であった。



(6) 感染症罹患報告者数

① COVID-19

学生 COVID-19 感染者数（みなし感染者含む）

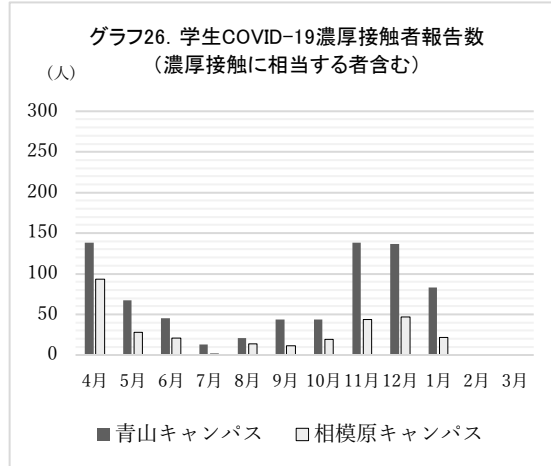
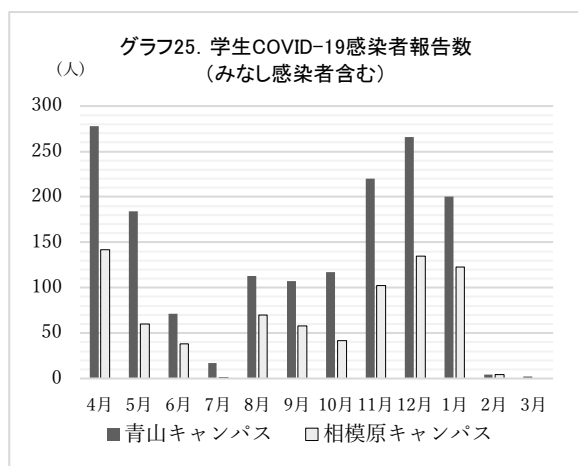
*第一報報告日でカウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青山キャンパス	278	184	71	17	113	107	117	220	266	200	4	2	1579
相模原キャンパス	142	60	38	1	70	58	42	102	135	123	4	0	775
合計	420	244	109	18	183	165	159	322	401	323	8	2	2354

学生 COVID-19 濃厚接触者数（濃厚接触に相当する者含む）

*第一報報告日でカウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青山キャンパス	138	67	45	13	21	44	44	138	137	83	1	0	731
相模原キャンパス	93	28	21	1	14	11	19	44	47	22	0	0	300
合計	231	95	66	14	35	55	63	182	184	105	1	0	1031



教職員等 COVID-19 感染者数 (みなし感染者含む)

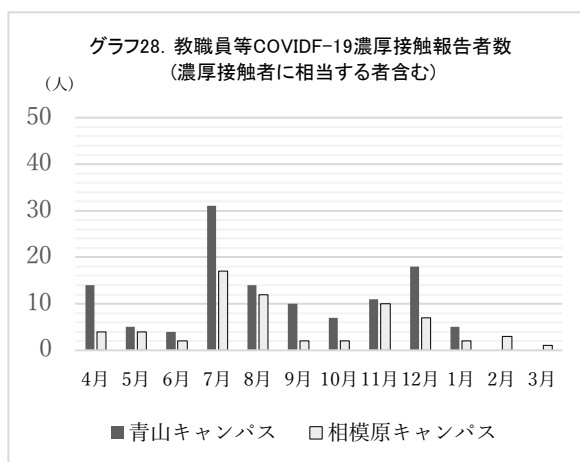
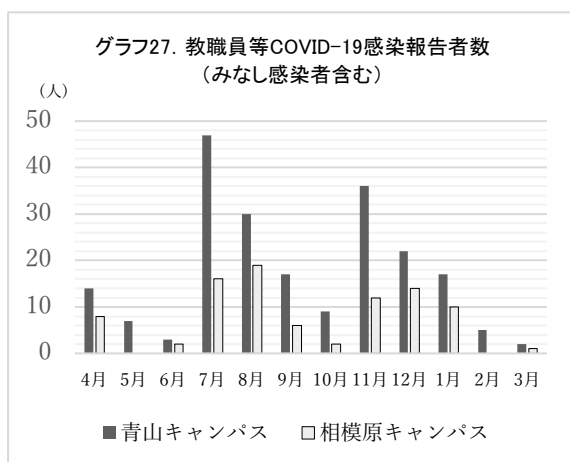
*第一報報告日でカウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青山キャンパス	14	7	3	47	30	17	9	36	22	17	5	2	209
相模原キャンパス	8	0	2	16	19	6	2	12	14	10	0	1	90
合計	22	7	5	63	49	23	11	48	36	27	5	3	299

教職員等 COVID-19 濃厚接触者数 (濃厚接触に相当する者含む)

*第一報報告日でカウント

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
青山キャンパス	14	5	4	31	14	10	7	11	18	5	0	0	119
相模原キャンパス	4	4	2	17	12	2	2	10	7	2	3	1	66
合計	18	9	6	48	26	12	9	21	25	7	3	1	185



②その他の感染症

青山キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	0	0	0	1	0	0	0	3	108	26	0	0	138
感染性胃腸炎	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
EB ウィルス感染症	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
水痘 (みずぼうそう)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
伝染性単核球症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	0	5	1	0	1	1	5	108	27	0	0	148

相模原キャンパス

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	1	35	16	0	0	52
感染性腸炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性角結膜炎	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
流行性耳下腺炎	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	0	2	1	0	0	0	1	35	16	0	0	55

2022 年度学生の COVID-19 感染報告数（病院、学校医判断のみなし感染者を含む）は、感染力の強いオミクロン株の流行に伴い両キャンパス合わせて 2,354 件で、2021 年度の 801 件を大きく上回った。ヒアリングの結果では、感染者のうちワクチン未接種者は 13%程度にとどまり、2 回以上ワクチンを接種している学生の感染報告が多かったが、2022 年度の Web 調査の結果で 90%の学生が既にワクチン接種済みとの結果がでており、接種者の感染報告者の割合が高くなるのは必然であろう。

学生の濃厚接触者数（学校医判断による濃厚接触者に相当する者を含む）は 1,031 件であった。保健所が特定する濃厚接触者が主に家族のみに変更された事に伴い、家族以外に関しては学校や事業所で対応する必要が生じたため、保健管理センターは引き続き対応に追われた。感染拡大中も学生は宿泊やカラオケ等感染リスクの高い行動を取る事も多く、学生の濃厚接触者数は 2021 年度の 846 件を上回った。

教職員等の感染者の報告件数は 297 件で、学生同様 2021 年度の 75 件を大きく上回ったが、感染報告のピークは学生と異なり 7～8 月に罹患報告が多かった。教職員等の濃厚接触者数は 185 件で、家族が感染したケースがほとんどであるが、こちらも 2021 年度の 82 件を大きく上回った。

保健管理センターでは感染者、濃厚接触者に対して一人一人ヒアリングを行い、療養期間もしくは自宅待機期間の指導、状況に応じた体調管理、感染防止に関する生活指導を行うと共に、療養や待機解除前に体調の最終確認を行った。

COVID-19 に関しては、国の感染者、濃厚接触者の対応が随時更新される中、本学院でも、2022 年 4 月 8 日「新型コロナウイルスに伴う濃厚接触者に関する本学院の対応方針について」、2022 年 7 月 25 日「新型コロナウイルスに伴う濃厚接触者の待機期間の変更について（7 日間⇒5 日間）」、2022 年 9 月 9 日「新型コロナ感染者療養期間短縮（10 日間⇒7 日間）に伴う対応について」等の決定事項が教職員に配信され、保健管理センターは学生、教職員共に学院の方針に準じた対応を行った。

COVID-19 以外の感染症報告は 203 件であった。2022 年度は 12 月に入り学生のインフルエンザ報告件数が急増し、12 月の報告件数は 143 件となった。年明け、定期試験中に更に増加する事を懸念したが、12 月を上回る事はなく定期試験終了後には報告件数は 0 件となった。

COVID-19 を含む感染症に関しては、引き続き流行の動向を見極めながら、状況に応じた対応をしていく必要がある。

(7) 学生の休学者・退学者数

休学・退学事由		青山キャンパス	相模原キャンパス	合計
病気療養による 休学者数	精神疾患	40	21	61
	内科疾患・その他疾	8	1	9
	合計	48	22	70
病気療養による 退学者数	精神疾患	6	4	10
	内科疾患・その他疾	0	0	0
	合計	6	4	10
死亡退学者数		3	0	3

病気療養による休学者は 2021 年度とほぼ変わらず推移している。精神的問題で病気療養している者が 83%を占めているが、その背景にはコロナ禍で学生の生活環境が大きく変化したことも寄与しているものと考えられる。今後、コロナ禍の終息の兆しが見え始めている中、精神的な問題を抱えた学生が気軽に相談に訪れる事ができる場として、今後も保健管理センターの存在の認知を高めていく必要がある。

3. 教職員健康診断・産業保健

(1) 教職員定期健康診断 項目別受診率（キャンパス別）

＊総対象者数は、2022 年 10 月 31 日付データをカウント

＊項目別受診者数は、定期健康診断+フォローアップ健診(2022 年 10 月～2023 年 3 月)受診者をカウント

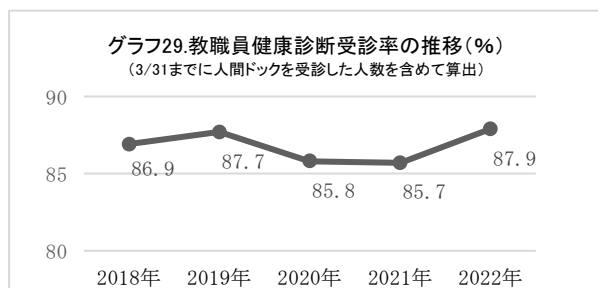
＊人間ドック受診者数は 2023 年 3 月 31 日までに提出済みの人間ドック受診者数をカウント

青山キャンパス

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ック 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レ ン ト ゲ ン	心 電 図	血 圧	尿	血 液	視 力	聴 力	計 測	腹 囲	免疫学的 便潜血反応	肝炎ウイルス 検査	生 活 調 査
大学本務教員	404	268	48	78.2	267	241	268	265	264	268	267	268	242	223	21	268
大学兼務教員	2	2	0	100	2	1	2	2	2	2	2	2	1	1	0	2
本部・大学本務職員	359	283	53	93.6	275	146	283	281	256	283	283	283	146	141	17	283
本部・大学兼務職員	78	71	4	96.2	71	49	71	71	65	71	71	71	48	43	14	71
幼稚園 本務兼務教職員	15	14	1	100	14	9	14	14	13	14	14	14	9	9	2	14
合 計	858	638	106	86.7	629	446	638	633	600	638	637	638	446	417	54	638
有所見者数					54	83	75	19	371	145	27	207	145	15	14	

相模原キャンパス

所 属	総 対 象 者 数	受 診 者 数	人 間 ド ック 受 診 者 数	受 診 率 %	項目別受診者数											
					レ ン ト ゲ ン	心 電 図	血 圧	尿	血 液	視 力	聴 力	計 測	腹 囲	免疫学的 便潜血反応	肝炎ウイルス 検査	生 活 調 査
大学本務教員	264	199	34	88.3	199	148	199	199	167	199	199	199	147	140	12	199
大学兼務教員	2	1	0	50.0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
本部・大学本務職員	104	86	10	92.3	86	55	86	86	73	86	86	86	55	53	8	86
本部・大学兼務職員	57	52	3	96.5	51	42	52	52	44	52	52	52	42	40	9	52
本務兼務教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	427	338	47	90.2	337	246	338	338	285	338	338	338	245	234	30	338
有所見者数					53	28	30	21	154	6	12	120	75	12	4	



今年度も昨年同様 COVID-19 禍の中での実施となり、健康診断会場での混雑緩和のため受付時間の延長、フォローアップ健診（定期健康診断実施日に何らかの理由により健康診断を受診できない場合、期間内であれば自己負担無しに指定の医療機関で健康診断を受診できる制度）期間を 2022 年 10 月～2023 年 2 月まで設けた。フォローアップ

健診が浸透したことにより、2022 年度のフォローアップ健診受診者は 2021 年度の 46 人から 71 人に増え、全体受診率も 87.9%と上昇した。一方で、受診奨励をしているにも関わらず健康診断未受診者も一定数おり、今後も引続き受診率向上への働きかけは必要である。

(2) 教職員定期健康診断 有所見者の経過 (全キャンパス)

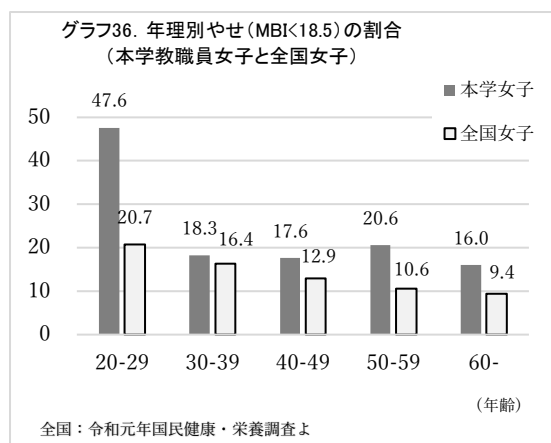
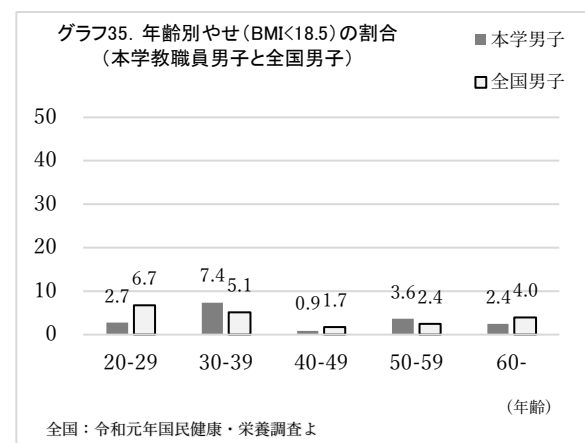
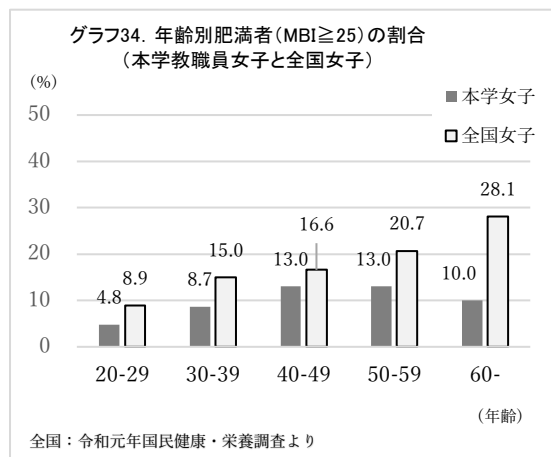
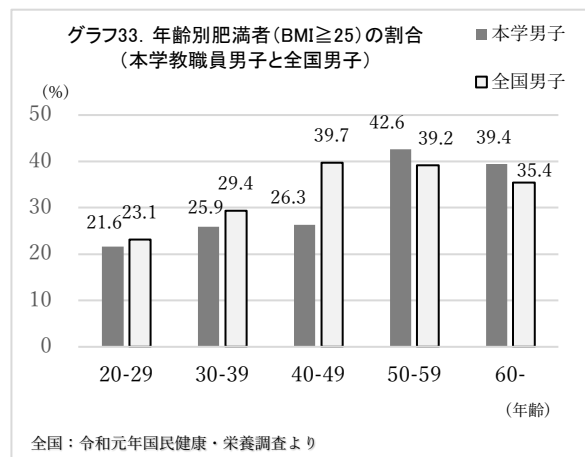
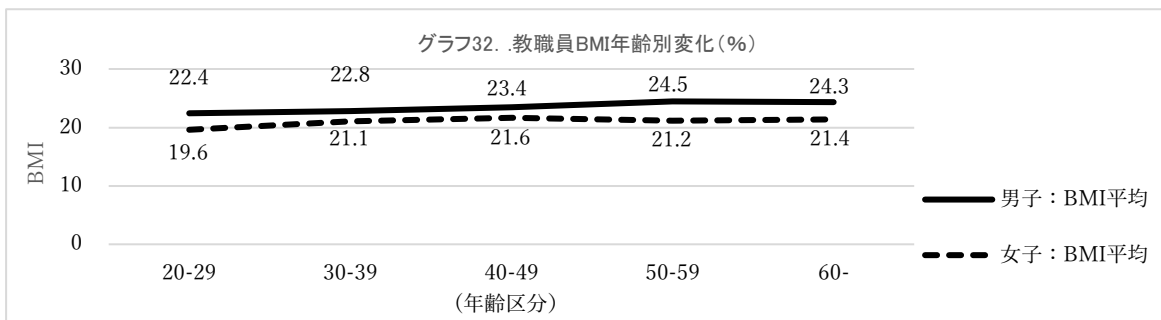
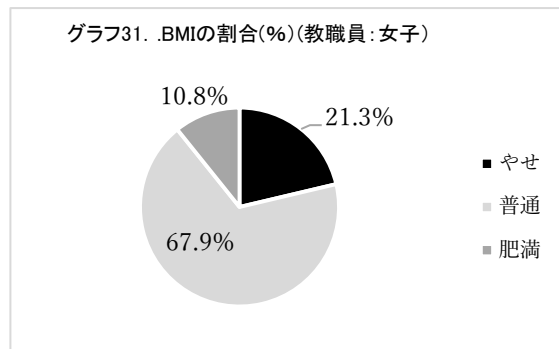
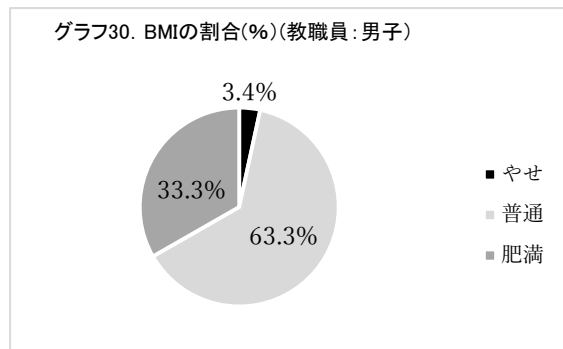
健診項目	有所見者数 (実人数)	有所見 率	有所見者の経過				
			問題 なし	要経過観察	要治療又は治療中	受診結果 未報告	未来室
胸部 レントゲン	107	11.1	48	結節性陰影(6) 硬化性陰影(1) 石灰化影(3) 索状陰影(8) 粒状陰影(1) 陳旧性炎症性変化(3) 胸膜肥厚(3) 気腫性のう胞(4) 肋骨骨折痕(3) 大動脈硬化(2) 肺尖部肺野手術後(2) 側弯(6) その他(9)	乳腺粗大石灰化(1) 心臓拡大(1) その他(3)	2	1
心電図	111	16.0	0	不完全右脚ブロック(7) 異常Q波の疑い(3) ST降下(1) 非特異的ST-T変化(1) 洞性徐脈(3) 洞性頻脈(10) 第1度房室ブロック(3) 異所性心房調律(1) 洞性不整脈(1) 上室性期外収縮(1) 陰性T波(1) 完全右脚ブロック(7) 上室性期外収縮頻発(2) 心拍過多(1) 上・心室性期外収縮頻発(1) 非特異的T波異常(1) その他(52)	大動脈閉鎖不全症(1) 陰性T波(1) 左室肥大(1) 労作性狭心症(1) 異常Q波疑い(1) 洞性徐脈(1) Rsr' (1) 心室性期外収縮(2) 心房細動(2) 右軸偏位(1) 不完全右脚ブロック(1) 心拍過多(1) R高振幅(1)	0	0
血 圧	105	10.8	1	高血圧(49)	高血圧(28)	20	7
尿検査	40	4.1	12	顕微鏡的血尿(1) 尿潜血(3) 尿蛋白(2)	糖尿病(15) 腎臓病(1) IgA腎症(1)	1	4
血液検査	525	59.3	62	脂質異常(220) 肝機能障害(129) 高血糖(119) 貧血(43) 白血球数異常(37) 腎機能低下(19) 尿酸値異常(27)	脂質異常(38) 高尿酸血症(3) 肝機能障害(3) 糖尿病(22) IgA腎症(1) 貧血(12) 白血球数異常(4) 腎機能低下(5)	11	27
肝炎ウィ ルス検査	18	21.4	17	0	0	1	0
免疫学的 便潜血反応	27	4.1	6	大腸ポリープ(3) 便潜血陽性(1)	大腸ポリープ(3) 痔(1) その他(2)	4	7

教職員健康診断における有所見者数は延べ936人であった。項目別有所見率は、血液検査の有所見率が59.2%と最も高い。特に、脂質異常症・肝機能障害・耐糖能異常等の生活習慣病に関連した要経過観察者が多く、例年同様の傾向となっている。引き続き生活習慣病の改善のため健康診断後の保健指導や受診推奨、また予防のため集団健康教育を継続し実施していく必要があると考える。

(3) 教職員の身体状況（肥満とやせ）

本学：教職員健康診断受診者 男子 529 人、女子 446 人より算出

(2023 年 3 月 14 日現在)



教職員の体格指数 (BMI) の割合は、男性は肥満 33.3%、やせ 3.4%、女性は肥満 10.8%、やせ 21.3%であった。前年度と比較して男性の肥満は 0.1%増加、女性の肥満は 1.1%減少、男性のやせは 0.1%増加、女性のやせは 1.7%増加した。

2019 年「国民健康・栄養調査」と比較した場合、例年同様、肥満は 50 代以上の男性が全国平均を上回っていた。女性に関しては 20～60 代全ての年代で全国平均を下回っていた。やせでは男性が 30 代 50

代で全国平均を上回り、女性のやせに関しては20～60代全ての年代で全国平均を上回っていた。肥満ややせは運動習慣や食習慣に起因する場合も多く、引き続き、生活習慣の改善や疾病の予防につながるような保健指導や健康教育を実施していきたい。

(4) 保健指導

通常健康診断事後措置（医師面談・受診推奨）と共に、結果通知で保健指導を案内しているが、例年、自主的に保健指導を希望してくる教職員が少ないことが課題となっている。今年度は、対象者全員に対しメールで保健指導の案内を送付するなど、来室を促す対応をとったが、保健指導実施者の増加には至らなかった。対象者が自らの生活習慣を振り返り、健康への関心を持つ機会となり行動変容に導けるよう仕組みづくりから検討し取り組んでいきたい。

(5) 教職員の休職・復職者数（対象：学院全体）

休職・復職事由	青山キャンパス		相模原キャンパス	
	休職（再休職※1）	復職	休職（再休職※1）	復職
精神的疾患	8 (0)	1	2 (0)	0
身体的疾患	5 (0)	2	0 (0)	1
合計	13	3	2	1

※1：再休職の定義 復職日から1年10カ月を経過するまでの間に療養することとなった場合

上記は療養就業規則上の休職者数である。全教職員に対する休職者の割合は1.2%であり、前年度より0.5%増加している。今年度は精神的・身体的疾患ともに新規の休職者が多くを占めており、休職期間が長期に及ぶケースが増加している。

精神的疾患による復職の際には、復職支援プログラムを適用しているが、関連部署との連携のもと段階的に進めることでスムーズに復職に繋がっている。身体的疾患による復職でも、人事や所属長と連携のもと職場の環境調整を行い、定期的な産業医面談によるフォローや就業上の配慮を一定期間は継続している。引き続き、復職の定着率の増加や再休職の防止に努めていきたい。

(6) 長時間労働者への産業医による面接

過重労働による健康障害を防止するため、労働安全衛生法に従って、長時間労働者（事務職員）に対して産業医による面接指導を実施している。

【面接指導対象者、及び指導項目】

法定外労働時間（月）	疲労度チェック※1	産業医面接
法定外労働時間70時間越え	○	必須
法定外労働時間60時間越え	○	考慮※2

※1：対象者に対しては産業保健スタッフよりメールにて回答方法を案内。

※2：本人の面談希望、疲労度チェック（厚生労働省推奨）の結果、健康診断などにより産業医が実施について判断。

面接指導対象者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対象者・指導項目													
法定外労働時間70時間超え対象者数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
法定外労働時間60時間超え対象者数	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	2	0	9
疲労度チェック回答数	1	0	1	1	0	1	2	1	1	1	2	1	12
医師面談数	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3

今年度の長時間労働者において、法定外労働時間 70 時間超は延べ 3 名、法定外労働時間 60 時間超は延べ 9 名であった。年間行事に伴う繁忙期により、同部署での該当者が複数名発生しているケースが多く、該当者には、所属長や人事部が状況を把握し対策を講じるとともに、健康面での配慮として、産業医による面接指導を案内し体調確認を実施している。疲労度チェックシートによる体調確認を実施した者は 12 名、産業医による面接指導を実施した者は 3 名であった。医師面接指導結果では、具体的な就業上の配慮を要する者はいなかった。引き続き、所属長や人事部と連携しながら、長時間労働による脳・心臓疾患やメンタルヘルス不調者の早期発見に努め、早期対応を図りたい。

(7) ストレスチェック受検率に関する報告（対象：学院全体）

2014 年の労働安全衛生法の改正により、従業員のストレスチェックが事業者に対し義務付けられた。本学では 2016 年度から実施し、今回 7 回目の実施となった。

【実施期間】 2022 年 11 月 7 日（月）～11 月 21 日（月）

【対 象】 定期健康診断対象者で 2022 年 10 月 1 日時点在籍の教職員
（幼稚園・初等部・中等部・高等部の教職員を含む）

【実施方法】 ティーベック（株）ストレスチェック web システムを採用（若干名、紙受検者あり）

【周知方法】 教職員ポータル、学部長会、教授会、事務連絡会等

年度	対象人数	受検人数	受検率 (%)
2022 年度	1480	1187	80.2
2021 年度	1484	1117	75.3
2020 年度	1487	1122	75.5
2019 年度	1520	1047	68.9
2018 年度	1508	1006	66.7
2017 年度	1527	1040	68.1
2016 年度	1503	914	60.8

2022 年度の受検率は、教員の受検率アップにより学院全体で 80.2%と昨年より 5%程上昇した。経年で受検率は上昇しているものの、今後も引き続き受検案内に関する周知や推奨方法を検討していく必要がある。

学院全体の傾向として高ストレス者割合と総合健康リスクは、昨年より減少傾向であった。仕事の負担度や職場の支援に関する数値は横ばいであるが、業務負荷が強いというリスク要因があり、それが不調につながる可能性があるため、職場の支援でこれを抑える傾向が続いている。集団分析結果は基幹部署から所属長にフィードバックされているが、今後はフィードバック後の対応等含め、職場環境改善に取り組む必要があるであろう。

4. 集団健康教育

健康教育テーマ	実施日	講師	対象者(参加者数)
新任教職員セミナー 健康管理について(動画配信)	4月	保健師	新任教職員
Health Administration Center News(学生ポータル配信) 保健管理センター紹介/Web 健康調査自覚症状 TOP5/慢性頭痛 人に聞きづらい月経のトラブル/栄養士監修弁当紹介 HIV 検査普及週間の案内/子宮頸がんって知ってますか? 新型コロナウイルス後遺症について/世界エイズデーについて インフルエンザについて/構内&大学周辺エクササイズ MAP	4月～12月	保健師作成	学生&教職員
頭痛との付き合い方 (オンラインセミナー)	6/13	保健C嘱託医	学生 (20名)、教職員 (45名)
海外留学医療特別セミナー (オンラインセミナー) *保健Cと国際交流課共同開催	①6/15 ②11/16	外部講師(医師)	学生&教職員 ① (194名) ② (129名)
熱中症対策アドバイザー養成講座 (オンデマンド講座) *外部企業協賛	7/5～8/6	外部講師	学生&教職員 (187名)
保健管理センターと・学食栄養士コラボ企画(学生ポータル配信) 栄養士監修弁当レシピ・学食だより・学生食堂栄養士への質問	7月～適宜	保健師 学生食堂栄養士	学生
2022 年度防災訓練二次対応 ①コロナ禍における一次救命処置 ②応急処置 (折りたたみ三角巾のつくり方)	7/15 7/19	看護師	職員
肥満対策夏だより・冬だより (学生ポータル配信)	8/7、12/7	保健師作成	BMI25 以上の学生
禁煙教育ー禁煙方法のパンフレット送付/禁煙相談	6月、8月	保健C嘱託医	禁煙希望学生(4名)
教職員健康診断会場健康啓発ブース 青山キャンパス ①運動量UP、構内&大学周辺エクササイズ MAP ②VDT 症候群/歯の健康動画配信 相模原キャンパス ①運動量UP、相模原市ウォーキングアプリの案内 ②VDT 症候群	9/27～9/30 9/28～9/30	保健師・看護師作成	教職員
AED 講習会 AED の使い方とファーストエイド (対面・実技)	10/6①14 時 ②15 時	看護師	青祭実行委員学生 ①(10名) ②(16名)
寄附講座 (対面) ①本学学生の健康データの見える化～健康課題について～ ②メンタルヘルスについて	11/7 11/14	保健師 保健C所長	学生 (78名) 学生 (78名)
健康増進普及月間 (オンラインセミナー) ①健康診断結果の見方 ②糖尿病の合併症予防 ③認知症セミナー ④脂質異常症対策ランチョンセミナー *栄養士監修弁当とのコラボ企画	11/8 11/18 11/21 11/24	保健C嘱託医 保健C嘱託医 保健C嘱託医 管理栄養士 (フィットネスセンター所属)	教職員 (13名・録画視聴 292 回) 教職員 (11名・録画視聴 63 回) 教職員 (17名・録画視聴 192 回) 学生&教職員 (11名・録画視聴 344 回)
2023 年度健康カレンダー(ポータル配信)	12/1	保健師・看護師作成	学生/教職員
快適な睡眠を得るための睡眠のお話 (動画配信)	1月	保健C嘱託医	学生
「骨密度を高めてケガを予防しよう！」 オンラインセミナー *栄養士監修弁当とのコラボ企画	1月	管理栄養士 (フィットネスセンター所属)	学生&教職員 (10名、録画視聴 422 回)

学生の集団健康教育では、Web 健康調査の結果を基に学生の抱えている健康問題に焦点を当てたリーフレットの PDF 配信等を行った。また今年度は青山祭実行委員から自主的に救急対応の講習会開催の依頼があり、感染対策を行い対面での AED 使用に関する実技指導を実施した。

教職員の集団健康教育では、教職員健康診断の機会を利用し健康診断会場での健康ブース設置やスライド上映を行った。また、健康への関心が高まる健康診断結果が返却される時期を狙い、「健康増進普及月間」として健康に関する4つのオンラインセミナーを開催し、教職員の関心を得ることが出来た。

学生、教職員共に参加可能な集団健康教育では、大学のフィットネスセンター及び学生食堂の協力を得て食セミナーを開催すると共に、企業が実施している社会貢献活動を利用し、熱中症対策アドバイザー養成講座受講の機会等を提供した。

2022年度はコロナ禍という事もありオンラインでの集団教育が多かった。対面の場合、興味はあるが健康に関する優先順位が低く他の予定が優先されてしまう集客面での課題を抱えていたが、オンラインでは、アーカイブ配信での再生数が非常に多く、集団健康教育方法としては対面よりもオンラインの方が需要が高いのではないかという感触を受けた。集団健康教育のテーマ、実施方法に関しては、今後も学生、教職員のニーズの把握に努めながら、健康の保持増進に努めていきたい。

5. その他の法定健康診断

(1) 特殊健康診断（相模原キャンパス）

①特殊健康診断実施者数

(2023年3月31日現在)

		対象者数			受診者数			受診率		
		教職員	学生	合計	教職員	学生	合計	教職員	学生	合計
春期	特殊健康診断	36	284	320	36	284	320	100.0	100.0	100.0
内 訳	電離放射線	33	217	250	33	217	250	100.0	100.0	100.0
	有機溶剤	7	-	7	7	-	7	100.0	-	100.0
	特定化学物質	8	-	8	8	-	8	100.0	-	100.0
	有機溶剤・特化物	-	109	109	-	109	109	-	100.0	100.0
秋期	特殊健康診断	35	-	35	35	-	35	100.0	-	100.0
内 訳	電離放射線	32	-	32	32	-	32	100.0	-	100.0
	有機溶剤	6	-	6	6	-	6	100.0	-	100.0
	特定化学物質	7	-	7	7	-	7	100.0	-	100.0
	有機溶剤・特化物	-	-	-	-	-	-	-	-	-

②電離放射線健康診断結果

(2023年3月31日現在)

		実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも 問題なし (人)		経過観察 (人)		再検査 (人)		病院受診 (人)	
		教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生
春 期	白血球数・白血球百分率	33	217	7	34	21.2	15.7	6	31	1	3	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	33	217	3	15	9.1	6.9	3	12	0	3	0	0	0	0
	白内臓に関する眼の検査	33	217	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮膚の検査	33	217	0	4	0.0	1.8	0	3	0	1	0	0	0	0
	自覚症状	33	217	5	14	15.2	6.5	4	13	1	1	0	0	0	0
	電離放射線使用による健康障害	33	217	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋 期	白血球数・白血球百分率	32	-	6	-	18.8	-	6	-	0	-	0	-	0	-
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	32	-	3	-	9.4	-	3	-	0	-	0	-	0	-
	白内臓に関する眼の検査	32	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	皮膚の検査	32	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	自覚症状	32	-	3	-	9.4	-	3	-	0	-	0	-	0	-
	電離放射線使用による健康障害	32	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

③有機溶剤健康診断結果

※学生は特定化学物質健康診断の結果も兼ねて集計

(2023年3月31日現在)

		実施者数		有所見者数		有所見率		所見あるも問題なし(人)		経過観察(人)		再検査(人)		病院受診(人)	
		教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生	教職員	学生
春期	作業条件の簡易な調査	7	109	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量	-	109	-	5	-	4.6	-	5	-	0	-	0	-	0
	肝機能検査	2	109	0	8	0.0	7.3	0	1	0	5	0	0	0	2
	尿代謝物検査	6	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	自覚症状	7	109	0	12	0.0	11.0	0	10	0	2	0	0	0	0
	他覚症状	7	109	0	2	0.0	1.8	0	1	0	1	0	0	0	0
	有機溶剤による健康障害	7	109	0	0	0.0	0.0	0	0	0	0	0	0	0	0
秋期	作業条件の簡易な調査	6	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	赤血球数・血色素量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	肝機能検査	2	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	尿代謝物検査	5	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	自覚症状	6	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	他覚症状	6	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
	有機溶剤による健康障害	6	-	0	-	0.0	-	0	-	0	-	0	-	0	-

④特定科学物質健康診断結果

(2023年3月31日現在)

		実施者数	有所見者数	有所見率	所見あるも問題なし(人)	経過観察(人)	再検査(人)	病院受診(人)
		教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員	教職員
春期	作業条件の簡易な調査	8	0	0.0	0	0	0	0
	自覚症状	8	0	0.0	0	0	0	0
	他覚症状	8	0	0.0	0	0	0	0
	尿潜血	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸およびフェニルグリオキシシル酸の総量	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	1	100.0	0	1	0	0
	胸部X線直接撮影	2	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	3	0	0.0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	2	0	0.0	0	0	0	0
	肝機能検査	5	2	40.0	0	2	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0
	握力	2	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	2	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	7	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	8	0	0.0	0	0	0	0
秋期	作業条件の簡易な調査	7	0	0.0	0	0	0	0
	自覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0
	他覚症状	7	0	0.0	0	0	0	0
	尿潜血	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中マンデル酸およびフェニルグリオキシシル酸の総量	1	0	0.0	0	0	0	0
	尿中β2ミクログロブリン	1	1	100.0	0	1	0	0
	胸部X線直接撮影	2	0	0.0	0	0	0	0
	白血球数・白血球分画	2	0	0.0	0	0	0	0
	赤血球数・血色素量・ヘマトクリット値	1	0	0.0	0	0	0	0
	肝機能検査	4	1	25.0	1	0	0	0
	血中カドミウム	1	0	0.0	0	0	0	0
	握力	2	0	0.0	0	0	0	0
	鼻の検査	2	0	0.0	0	0	0	0
	皮膚の検査	7	0	0.0	0	0	0	0
	特定化学物質による健康障害	7	0	0.0	0	0	0	0

2022 年度も、COVID-19 の感染対策を講じた上で前期・後期ともに学内で実施した。健康診断受診率は 100%であり、有所見者数・有所見率は前年度と比較して大きな変化はなく、業務起因性を有すると判断されたケースはなかった。

(2) 雇入れ健康診断

①雇入れ時健康診断受診者数

外部医療機関にて実施

(2022 年度採用月でカウント)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本部	13	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	16
大学	73	0	4	0	0	2	9	1	2	2	0	0	93
高等部	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
中等部	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	6
初等部	4	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	8
幼稚園	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	101	0	4	1	1	3	12	1	4	2	0	0	129

②雇入れ時健康診断有所見者の経過

検査項目	有所見者数	再検査	経過観察	病院受診	病院受診結果
胸部レントゲン	7	0	7	0	
心電図	10	0	10	0	
血圧	14	1	11	2	再検査 1 名 (未来室) 病院受診 2 名 (結果未報告)
尿検査	1	0	1		
血液検査	64	0	58	6	2 (脂質：経過観察) 4 (脂質 3 名、Hb 高値 1 名：結果未報告)

(3) 特定業務従事者健康診断

2022 年度の特定業務従事者健康診断対象者は 6 名で、受診率は 100%であった。春は特殊健康診断時に、秋は教職員定期健康診断時に併せて実施した。

6. 健康診断証明書発行業務

(1) 青山キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2023年3月31日現在)

内 訳			月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動発行内訳	1年生	人数	14	28	27	13	13	12	11	10	6	2	0	0	136	
		枚数	15	33	31	14	16	13	11	12	6	2	0	0	153	
	2年生	人数	6	9	6	5	6	3	8	1	1	1	1	4	51	
		枚数	6	13	7	5	7	4	10	1	1	1	1	4	60	
	3年生	人数	2	6	8	5	2	3	3	11	13	10	15	0	78	
		枚数	2	8	15	7	2	4	3	12	19	11	15	0	98	
	4年生	人数	121	314	239	144	52	108	65	26	15	16	18	49	1167	
		枚数	134	353	263	155	58	123	73	31	18	16	19	54	1297	
	大 学 院 生	人数	12	14	15	12	4	8	8	8	7	1	1	3	93	
		枚数	12	15	16	14	4	8	8	10	7	1	1	3	99	
	科目等履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
窓口発行 含英文診断書		人数	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5	
		枚数	1	1	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	6	
合 計		人数	156	372	296	179	77	134	96	57	42	30	35	56	1530	
		枚数	170	423	333	195	87	152	107	67	51	31	36	61	1713	

(2) 相模原キャンパス健康診断証明書発行枚数

(2023年3月31日現在)

月 内訳			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自動発行内訳	1年生	人数	4	7	5	3	1	3	2	2	2	0	0	0	29
		枚数	4	7	6	3	1	3	2	2	2	0	0	0	30
	2年生	人数	4	1	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0	15
		枚数	4	1	4	2	2	1	1	0	0	0	0	0	15
	3年生	人数	0	0	1	1	0	0	1	10	7	11	9	20	60
		枚数	0	0	1	1	0	0	1	11	8	11	11	24	68
	4年生	人数	32	69	57	28	13	19	17	11	4	3	6	9	268
		枚数	35	83	67	32	16	22	17	12	4	3	6	9	306
	大 学 院 生	人数	6	11	12	6	1	4	2	7	3	9	9	11	81
		枚数	6	11	13	6	1	4	2	7	3	11	9	13	86
	科目等履修生	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
窓口発行 含英文診断書		人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		枚数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
合 計		人数	46	88	79	40	17	27	23	30	16	24	24	40	454
		枚数	49	102	91	44	20	30	23	32	17	26	26	46	506

健康診断証明書発行人数・発行枚数ともに青山キャンパスの増加が見られた。相模原キャンパスの発行人数・発行枚数は前年度と同程度であった。2021年度から開始された新証明書システムにより窓口発行は両キャンパス共数件にとどまっている。

7. 救急処置・検査等保健管理センター利用状況

(1) 青山キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2023年3月31日現在)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
所属	学生	男	561	492	274	968	263	161	262	386	540	383	18	13	4321
		女	685	577	396	1103	232	276	306	518	699	507	36	30	5365
教職員	男	59	29	29	90	84	61	49	126	79	70	33	47	756	
	女	58	42	32	122	73	81	83	117	113	73	27	36	857	
その他		1	2	4	14	1	1	2	5	6	9	32	3	80	
合 計		1364	1142	735	2297	653	580	702	1152	1437	1042	146	129	11379	

(検査・処置等利用内容別件数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検査	血 圧	19	22	32	13	3	8	19	12	5	4	3	1	141
	検 尿	0	6	0	0	0	1	35	5	0	1	0	0	48
	検 便	0	0	0	0	0	1	16	7	0	0	0	0	24
	血 液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視 力	5	97	82	69	7	21	4	5	2	1	1	0	294
	心 電 図	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
	計 測	44	213	175	119	12	43	45	30	32	14	26	7	760
	聴 力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動血圧計	20	21	25	39	2	20	29	16	18	60	22	103	375
	体脂肪計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処置	投 薬	5	0	5	1	0	0	4	2	2	0	0	0	19
	処 置	25	23	37	24	4	19	41	21	23	18	15	8	258
	ペット・休養	38	40	64	31	2	11	40	35	15	15	12	3	306
	医師面談	63	141	111	79	10	40	31	44	33	28	37	25	642
	病院紹介	11	12	6	4	1	4	7	13	10	5	4	5	82
	救 急 車	1	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	7
	病院搬送	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4
	保健指導	6	6	2	1	0	4	2	28	6	3	2	2	62
	問診調査・相談	197	139	83	46	16	74	35	85	192	140	48	58	1113
	電話・メール対応	1024	725	414	2060	580	435	504	940	1166	888	51	33	8820
合 計		1459	1445	1037	2488	638	682	814	1247	1505	1177	221	245	12958

(症状・疾患別利用者数)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症状・所見	胃腸症状	16	13	10	4	1	3	7	4	2	6	4	1	71
	感冒	8	5	4	5	0	3	6	10	24	3	0	0	68
	頭痛	7	3	10	2	0	2	3	4	4	2	2	2	41
	体調不良	18	15	40	17	2	4	18	19	18	12	12	4	179
	生理痛	6	2	11	5	1	4	9	5	2	0	0	0	45
	外傷	17	9	16	16	5	8	25	9	14	12	8	5	144
	腰痛・筋肉痛	3	0	0	1	0	1	2	3	0	0	0	0	10
	熱傷	4	2	3	1	0	1	5	2	1	0	1	0	20
	Covid-19関連	1005	690	341	2040	582	410	502	929	1075	859	36	6	8475
	その他	5	6	5	1	0	2	2	20	175	72	3	6	297
その他の疾患	皮膚疾患	3	1	3	4	0	4	2	2	3	2	2	1	27
	昆虫刺傷	0	1	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	6
	整形外科疾患	4	6	19	5	0	3	10	5	9	2	0	2	65
	眼疾患	1	2	0	1	0	0	2	0	2	1	2	0	11
	耳鼻科疾患	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	6
	泌尿器科疾患	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	口腔疾患	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	精神衛生	13	25	27	16	0	23	12	15	18	10	12	8	179
合 計		1110	781	492	2119	591	471	605	1028	1347	981	86	35	9646

電話対応を含めた2022年度の保健管理センター利用者数は11379名であり、2021年度の4369名を大きく上回った。主たる要因はCOVID-19報告者数の増加であるが、その他、保健管理センター内で実施する学生フォローアップ健診者数が倍増した。また、本格的に対面授業も増え、生活習慣の変化により体調を崩す学生も多く、休養室利用者が2021年度の98件から306件と大幅に増加した。

保健管理センターでは2022年度も引き続き、利用者及びスタッフの感染防止対策として、換気、消毒等を徹底した上で対応した。

(2) 相模原キャンパス

(学生・教職員別利用者数)

(2023年3月31日現在)

月 所属		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	男	418	267	164	466	141	112	124	232	319	226	17	3	2489
	女	233	156	118	295	97	60	61	154	157	149	8	1	1489
教職員	男	22	12	9	34	33	28	17	50	39	36	20	26	326
	女	14	11	8	33	36	28	40	61	27	24	10	7	299
その他		2	2	0	13	4	6	1	0	5	0	1	0	34
合 計		689	448	299	841	311	234	243	497	547	435	56	37	4637

(検査・処置等利用内容別件数)

月 検査処置項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検 査	血 圧	1	6	8	2	0	0	2	3	1	2	1	0	26
	検 尿	0	1	1	0	0	2	22	4	0	2	0	0	32
	検 便	0	0	0	0	0	11	18	0	0	0	0	0	29
	血 液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視 力	0	51	33	13	1	0	4	2	1	2	2	0	109
	心 電 図	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	計 測	140	162	131	69	14	48	42	110	49	49	26	23	863
	聴 力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自動血圧計	6	29	32	20	9	12	16	12	8	24	5	13	186
	体脂肪計	1	5	7	6	1	4	2	0	0	0	0	2	28
処 置	投 薬	5	0	5	4	0	0	3	3	1	2	0	0	23
	処 置	5	8	13	10	2	5	10	6	7	2	1	1	70
	ペット休養	13	11	13	11	1	5	8	9	4	3	0	0	78
	医師面談	31	62	49	24	4	7	11	26	9	11	6	3	243
	病院紹介	3	1	5	1	0	3	4	12	0	2	2	2	35
	救 急 車	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	病院搬送	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
	保健指導	3	0	1	0	0	1	0	22	3	2	1	5	38
	問診調査・相談	296	163	119	363	113	122	115	273	281	225	36	28	2134
	電話・メール対応	542	277	159	766	294	175	162	370	465	349	26	11	3596
合 計		1047	778	578	1290	439	395	420	853	831	675	106	88	7500

(症状・疾患別利用者数)

月 症状・疾患		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
症 状・ 所 見	胃腸症状	4	3	1	2	1	0	2	1	3	1	0	0	18
	感冒	2	1	2	2	0	0	1	6	6	2	0	0	22
	頭痛	0	1	4	2	0	0	1	3	2	1	0	0	14
	体調不良	5	12	12	9	0	2	5	2	5	2	1	0	55
	生理痛	4	3	2	0	0	2	2	3	0	0	0	0	16
	外傷	3	7	11	7	1	4	5	5	2	1	0	0	46
	腰痛・筋肉痛	0	0	1	2	0	0	1	2	1	1	0	0	8
	熱傷	0	0	2	2	1	1	1	1	1	0	0	0	9
	Covid-19関連	552	272	147	767	292	174	160	370	461	343	22	8	3568
	その他	5	6	6	8	1	0	2	3	35	27	3	1	97
そ の 他 の 疾 患	皮膚疾患	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
	昆虫刺傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整形外科疾患	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	0	4
	眼疾患	1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5
	耳鼻科疾患	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3
	泌尿器科疾患	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	口腔疾患	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	精神衛生	12	7	24	8	3	7	6	11	6	3	6	5	98
	合 計	591	313	216	809	299	192	190	409	524	382	32	14	3971

学内入構者数の増加に伴い、保健管理センター利用者数も微増した。2022年度は2021年度以上にCOVID-19感染者数が増加したため、電話対応・健康相談の件数も顕著に増加。保健管理センター内で実施しているフォローアップ健診（学生）の利用者数も、引き続き一定の割合でみられた。

8. 各キャンパス業務内容利用状況

(1) 青山キャンパス

①保健管理センター全来室者数

(2023年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健康診断者数		7840	0	0	0	0	591	0	0	0	0	0	0	8431
フォローアップ	学生	25	224	122	102	17	50	16	6	7	1	6	1	577
保健者数	教職員	－	－	－	－	－	－	9	10	5	4	18	1	47
外部受診者数		1	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	5
証明書発行者数		1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	5
救急処置・検査等		1364	1142	735	2297	653	580	702	1152	1437	1042	146	129	11379
自動血圧計		20	21	25	39	2	20	29	16	18	60	22	103	375
合 計		9251	1391	883	2438	672	1241	757	1186	1467	1107	192	234	20819

②精神科医面談者数*教職員の面談にはセカンダリーも含む

(2023年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	6	5	6	1	0	4	3	2	3	2	4	0	36
教職員	12	7	9	14	1	4	7	11	8	9	4	13	99
合 計	18	12	15	15	1	8	10	13	11	11	8	13	135

③事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2023年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身 分	学生	0	0	1	2	0	0	2	2	0	0	0	7
	教職員	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
	その他	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合 計	2	0	1	2	1	1	2	2	0	0	0	0	11
原 因	事故	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	4
	疾病	2	0	0	1	0	1	1	2	0	0	0	7
	救急車依頼	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	7
対 応	病院搬送	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	4
	合 計	2	0	1	2	1	1	2	2	0	0	0	11

2022 年度も引き続き感染防止対策の一環として定期健康診断受診を見送った学生には健診項目により指定の外部医療機関(111 名利用)もしくは保健管理センター(466 名利用)で受診できるフォローアップ健診の機会を設けた。教職員に関しては、受診機会を増やす事を目的に指定の外部医療機関でのフォローアップ健診を実施しており、2022 年度は 47 名が利用している。精神科医との面談者数は 2021 年度とほぼ変わらず、救急車要請、病院搬送件数は増加している。救急車要請の要因は、外傷が 3 件、持病の悪化が 2 件、内科的要因が 2 件であったが、医療機関に速やかに搬送され、治療に繋がっている。

(2) 相模原キャンパス

①保健管理センター全来室者数

(2023年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
定期健康診断者数	3723	326	2	1	0	346	3	1	0	0	0	0	4402
フォローアップ 健診者数	学 生	7	91	60	32	9	8	7	6	3	3	0	229
	教職員	0	0	0	0	0	0	5	2	2	6	9	24
外部受診者数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
証明書発行者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
救急処置・検査等	689	448	299	841	311	234	243	497	547	435	56	37	4637
自動血圧計	6	29	32	20	9	12	16	12	8	24	5	13	186
合 計	4425	894	394	894	329	600	274	519	560	469	73	50	9481

②精神科医面談者数

(2023年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	5	3	11	2	0	2	1	4	1	2	3	1	35
教職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合 計	5	3	11	2	0	2	1	4	1	2	3	2	36

③事故・病院搬送及び救急車依頼件数

(2023年3月31日現在)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身 分	学生	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	5
	教職員	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
合 計		0	1	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	7
原 因	事故	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	疾病	0	1	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0	6
対 応	救急車依頼	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
	病院搬送	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
合 計		0	1	2	0	0	0	1	1	2	0	0	0	7

2021年度と比較すると4月の学生健康診断受診者数は減少し、フォローアップ健診受診者数が増加した。2022年度も、学生・教職員共に一定数がフォローアップ健診を利用している。

保健管理センターが介入した救急車要請件数は3件、病院搬送数4件であった。いずれも速やかに医療機関に搬送され、治療に繋がっている。

9. 行事のための救急待機保健管理センター利用状況

2022年日付	キャンパス	行事	男	女	合計	症状・所見
4/1(木)	青	入学式	0	3	3	外傷(3)
5/21(土)	相	ペアレントウィークエンド企画キャンパス見学会	0	0	0	
6/11(土)	青	ペアレントウィークエンド企画キャンパス見学会	0	0	0	
7/10(日)	相	オープンキャンパス	0	0	0	
7/16(土)	青	大学院説明会救護待機	0	0	0	
8/2(火)・3(水)	青	入学者選抜説明会	0	0	0	
9/2(金)・3(土)	相	理工学研究科入試救護待機	1	0	1	健康相談(1)
9/3(土)	青・相	社会情報学研究科入試救護待機	0	0	0	
9/24(土)	青	9月卒業生学位授与式	0	0	0	
10/8(土)	青	2023年度入学者選抜(年内実施)救護待機	0	0	0	
10/8(土)・9(日)	相	相模原祭救護待機	2	0	2	胃腸症状(1) 外傷(1)
10/28(金)～30(日)	青	青山祭救護待機	4	13	17	外傷(4) 火傷(4) 感冒(1) 体調不良(6) その他(2)
11/5(土)・23(水祝)	相	2023年度入学者選抜救護待機	0	0	0	
11/5(土)・23(水祝) 26(土)	青	2023年度入学者選抜(年内実施)救護待機	0	0	0	
12/3(土)	相	理工学研究科入試救護待機	0	0	0	
12/10(土)	青	2023年度入学者選抜(年内実施)救護待機	0	0	0	

2023 年日付	キャンパス	行事	男	女	合計	症状・所見
1/15(土)・16(日)	青	大学入学共通テスト救護待機	5	2	7	感冒(3) 気分不快(2) 切傷(1) その他(2)
1/28(土)	青・相	社会情報学研究科入試救護待機	0	0	0	
2/7(火)・9(木) 2/10(金)・2/11(土) 2/13(月)・2/14(火) 2/15(水)・2/17(金) 2/18(土)・2/19(日)	青	一般選抜入試救護待機	23	9	32	感冒(1) 腹痛(2) 気分不快(10) 嘔気嘔吐(2) 鼻出血(4) 外傷(8) その他(5)
2/18(土)	相	社会情報学研究科入試救護待機	0	0	0	
3/18(土)	青	AOGAKU OPEN DAY 救護待機	0	0	0	
3/25(土)	青	学位記授与式救護待機	3	0	3	外傷(2) その他(0)

10. 各種情報処理

(1) 学生健康診断処理関係

実施年月	処理内容	保健管理センター処理	事務システム部処理
2022年	4月	保健データ管理画面アップデート開始	4/1～通年
		学生健康診断データ(HCCALT)アップデート処理	4/12
		1回目春プリントファイル更新処理	4/12
		学生定期健康診断有所見者リスト出力処理	4/13
		2回目春プリントファイル更新処理	4/22
		健康診断結果通知打ち出し処理	4/22
		健康診断証明書ファイル作成	4/22
	10月	3回目春プリントファイル更新処理	10/28
2023年	2月	2023 年度版 Web 健康調査票表示期間設定(在校生)	2/11 (3/1～3/15 に設定)
		Web 健康調査票バックアップ	2/15
		Web 健康調査票次年度用処理	2/28
	3月	学生身分異動統計処理	3/16
		学籍新年度処理	3/22～3/24
		SANSHOUDB 新年度学籍情報参照開始	3/28
		新年度離籍分離処理	3/29
		メモデータ離籍分離処理	3/29
		保留データ離籍分離処理	3/31
		学生健康診断対象名簿作成処理	3/25
		2022 年度版 Web 健康調査結果削除処理	3/29
		2023 年度版 Web 健康調査表示期間設定(新入生)	3/25 (4/1～4/15 に設定)

(2) 教職員健康診断処理関係

実施年月	処理内容	保健管理センター処理	人事部処理
2022年	6月	人事部人事課より教職員退職者・定期健康診断受診対象者リスト提供	6/8・6/10
		教職員健康診断 Access データ作成処理	6/24
	9月	人事部給与課より6月以降就任・退職者リスト提供	9/6
		教職員健康診断 Access データ更新処理	9/9
	10月	教職員健康診断アップデート処理	10月中旬
		教職員有所見者呼出しリスト出力処理	10月中旬～通年
		人間ドック結果用 Access データ作成処理、適宜更新	10月中旬～通年
		私学共済提出用健康診断結果処理	10月中旬～通年

1 1. 受動喫煙防止対策（禁煙希望学生を対象とした禁煙教育）

(1) 体育会部活動を対象とした禁煙教育

2021 年度に一体育会運動部より部員全員の卒煙を目標とした医学的な支援依頼を受け、禁煙支援を開始した。まずは部員全員に向けて禁煙セミナーを開催し、その後アンケートで「禁煙に興味がある」「禁煙したい」と回答した禁煙関心期の学生 2 名に対して禁煙指導を継続的に行った。結果として介入した 1 名が禁煙に成功した。集団に対する禁煙教育では、喫煙者に対し、禁煙の変容ステージに沿った卒煙支援を継続するとともに、喫煙者・非喫煙者が相互理解をした上で、部全体で卒煙に向けてサポートをしていく体制が重要である。

実施年月	支援内容
2022 年 3 月	部員全員に向けた呼吸器内科医による禁煙セミナー実施
2022 年 6 月	セミナー後アンケートで禁煙関心期の学生へ個別支援：呼吸器内科医による禁煙指導（2 名）
2022 年 6 月、8 月	部員全員向けに禁煙パンフレットを送付
2022 年 7 月	禁煙関心期の学生への継続支援：呼吸器内科医による禁煙指導（2 名）
2022 年 12 月	禁煙関心期の学生への継続支援：保健師による禁煙指導（1 名）

(2) 個別禁煙教育

2022 年度は 2 名の学生が禁煙を希望し、呼吸器内科医の禁煙指導を受けた。うち 1 名は禁煙に成功し、1 名は支援を継続中である。今後も禁煙を希望する学生や教職員の相談窓口として、個別の禁煙支援を継続すると共に、たばこ受動喫煙による健康被害、依存性、新型タバコのリスクなど、禁煙の意義を理解してもらうために、禁煙教育を積極的に推進していきたい。

1 2. 全国保健管理研究集会研究発表

保健管理センターでは、年に 1 回開催される全国大学保健管理研究集会において研究発表を行っている。2022 年度は「本学教職員の新型コロナウイルス感染症に対する意識と行動の実態調査～新型コロナウイルス恐怖尺度を用いて～」の演題で発表を行った。

第 50 回全国保健管理研究集会以降の保健管理センター研究発表演題

年度 (全国保健管理研究集会開催回)	研究発表演題
2012 年度(第 50 回)	「大学生のインターネット依存と疲労自覚症状に関する実態調査」
2013 年度(第 51 回)	「大学生におけるインターネット依存と学年ならびに日常生活状況の関連性に関する調査」
2014 年度(第 52 回)	「大学生の進級失敗リスクとインターネット依存」
2015 年度(第 53 回)	「大学新入生における薬物使用リスクに関する研究」
2016 年度(第 54 回)	「インターネット依存の大学在学中の発症に影響を及ぼす因子に関する検討」
2017 年度(第 55 回)	「学生食堂を利用した生活習慣病予防教育の試み」
2018 年度(第 56 回)	「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2019 年度(第 57 回)	「女性教職員における睡眠実態に関する調査～三次元睡眠尺度を用いて～」
2020 年度(第 58 回)	①「本学教職員の睡眠に関する実態調査」 ②「性教育に対する普及啓発イベントの試みと学生の反応について」
2021 年度(第 59 回)	①「新型コロナウイルスが大学生に及ぼす心理的影響について」 ②「大学生の新型コロナウイルス感染症対策に関する意識と行動」
2022 年度(第 60 回)	「本学教職員の新型コロナウイルス感染症に対する意識と行動の実態調査 ～新型コロナウイルス恐怖尺度を用いて～」